

・景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・商店街を中心としてハード面での環境整備が整ってくる。駅前の整備に加えて、商店街では販促活動を強化するためのイベント広場が完成するほか、フランチャイズの飲食店や地元居酒屋の開店に伴う効果が期待される。
		家電量販店（経営者）	・これまで客が節約していた分、今後、夏場にかけて売上は幾分上向いていくだろうと予測している。
		家電量販店（店長）	・DVDレコーダー、デジタルカメラ、次世代携帯電話などのデジタル家電が好調に伸びており、全体としては夏季商戦時には盛り返すと思われる。
		高級レストラン（経営者） その他レジャー施設（職員）	・観光シーズンになることや、最近の選挙の影響で売上が減っていたため、多少は期待ができる。 ・季節要因に加えて、イベント開催に伴う入場者の増加など、来客数の増加が見込まれる。
	変わらない	商店街（代表者）	・夏物バーゲン時期なので客足は出ると思うが、今年は札幌駅の大型複合商業施設の影響も含め、客が分散すると思われる、盛り上がりとしては期待できない。
		スーパー（店長）	・中国等で発生しているSARSの影響で、旅行関連業の不振が予測されることに加えて、社会保険料率の引き上げなどを考えると、今後の景気転換は望めない気がする。
		スーパー（企画担当）	・北海道内の失業率は依然として高止まりしており、また企業倒産も年明けから続発していることもあり、消費環境及び消費者心理に与える影響はますます悪化する傾向にある。
		衣料品専門店（店長）	・客の立場からみて先行きが不安定であるため、商品を買う気が失われている気がする。
		衣料品専門店（店員）	・2～3か月先には夏のボーナスが出る会社が多いと思うが、期待していない人が多いと思われ、それほど売上は変わらない。
		家電量販店（地区統括部）	・雇用状況の悪化、賃下げと、ただでさえ北海道の消費マインドが冷え込んでいるのに、イラク情勢、SARS、株価下落と暗いニュースが多く、急激な回復を見込めない。
乗用車販売店（従業員）		・収入が減っている家庭が多く、先行きを心配しているため、契約の伸びる可能性が少ない。	
一般レストラン（スタッフ）		・特に良くなりそうな情報がなく、社会保険料率の改正、航空運賃の値上げなどの不安材料がある。	
旅行代理店（従業員）		・SARS問題の今後が全く不透明である。仮に治療法が解明されても、急には海外旅行者の増加につながるか疑問である。	
タクシー運転手		・札幌市長選挙が再選挙となり、公共事業の発注が例年より遅くなり、ますます景気に影響が出てくるのが心配である。	
やや悪くなる	スーパー（店長）	・商品購入は引き続き買い渋りの状況が続いていく。	
	コンビニ（エリア担当）	・現状での週末の売上の減少に加えて、SARSの影響による観光の低迷等で行楽需要が望めない。	
	コンビニ（エリア担当）	・公共工事が減少していることに加えて、今年度も予算が大幅に削減されたことにより、幹線道路沿いの店舗で売上の減少が続くと思われる。	
	その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・明日が予測できないほど、急激に購買感覚が変化しているようであり、本当に先が読めない日々となっている。	
	高級レストラン（スタッフ）	・SARSの影響による外出の手控えなど、人の多く集まる場所を嫌う傾向が生じて、消費の低下が現れる。	
	高級レストラン（スタッフ）	・現時点の予約件数は前年と比べてかなり減少している。また、たとえ客数が前年並みとなっても単価の上昇を見込める要素が見つからない。	
	タクシー運転手	・SARS問題で観光客の動きが不透明であり、先行きに不安がある。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		観光名所（役員）	・航空運賃のアップによる国内旅行の減少に加えて、SARSの影響によりアジアなど海外からの観光入込みの大幅な減少が予測される。	
		美容室（経営者）	・客単価が下がってきており、今後もこの傾向は続く気配がある。	
	悪くなる	一般小売店〔土産〕（店員）	・SARSの影響はイラク戦争よりも長引きそうな気配なので、今後も海外旅行者の低迷が続くと思われる。さらには、不景気による国内旅行の需要の低下も考えられ、旅行業界にとっては厳しい状況が続くのではないかとと思われる。	
		コンビニ（エリア担当）	・企業倒産及びSARSに伴うアジアからの観光客のキャンセルにより、景気が悪くなる。	
		スナック（経営者）	・良くなる理由が一つもない。ただし、これから夏場にかけて、SARSの影響で海外旅行が減った分、道内・国内旅行者が増えると思うが、あまり多くは望めない。	
		旅行代理店（従業員）	・SARSの回復が不透明である。	
		旅行代理店（従業員）	・当地区では、不景気のため、一昨年の米国同時多発テロ以前から海外旅行が低迷しており、現在もなかなか回復していない。それに加えて、イラク戦争以上にSARSが大きな要因となり、当支店取り扱いの海外旅行は、皆無に等しい状況になっている。海外旅行の減少分が国内旅行にシフトしているわけでもなく、未曾有の危機と考えている。	
旅行代理店（従業員）	・イラク情勢、SARS、統一地方選挙、飛び石連休と悪材料が重なり、第1四半期は非常に悪かったが、とくに海外旅行の回復は、当面望めないと思われる。			
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		建設業（経営者）	・工事の引き合いや受注が、官・民及び土木・建築とも増加してくると期待している。ただし、競争が激しく、単価が下がっており、利益面では相変わらず厳しい。	
	変わらない	通信業（営業担当）	・顧客の動向として、凍結されていた設備投資に関して、部分的ではあるが、再開される動きが出てきた。	
		食料品製造業（社員）	・アジア中心のSARSが旅行の減退を招いている。当地方は、アジア地区からの観光客が多くなってきていた時期だけに、その影響は大きい。しかし、国内旅行の増加、とくに北海道への旅行の増加が発生しうると考えられ、ゴールデンウィーク時期とその後の夏までの時期にどれだけの流入があるかが鍵となる。	
		食料品製造業（団体役員）	・国内の中小企業及び当地の食品加工業界では、生産拠点を中国から他の東南アジア諸国へシフトした企業との間で、さらなる安価な商品との競争が起こってきており、当地の水産加工業でも、中国人の雇用を模索する企業が見受けられる。	
		輸送業（営業担当）	・大手取引先の新年度予算計画を見てみると、概ね前期並みとなっている。	
		金融業（企画担当）	・観光シーズンを迎えるが、SARSの影響で、中国、アジアなどからの観光客が激減することが懸念される。	
		司法書士	・統一地方選挙が終了し、行政や企業も本格的に事業活動を進めるとと思われる。	
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・信用不安の風評が増えてきた。	
		その他非製造業〔機械卸売〕（従業員）	・今まで償却金額相当の設備投資をしていた取引先で償却ができなかったり、中古品で間に合わせてしまったりする状況であり、新品の機械が売れなくなっている。	
		やや悪くなる	金属製品製造業（統括）	・住宅の着工棟数が昨年より減っているため、今後の受注量についても期待できない。
			輸送業（支店長）	・荷動きの低下に歯止めがかからない状況であり、これは物流業界はもとより、各業界の経済活動の低下を意味している。
	その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）		・どの業界でも淘汰が進んでおらず、価格がダンピングにより低下している。	
	悪くなる	その他サービス業〔システムハウス〕（経営者）	・仕事量の絶対量があまりにも不足しており、リストラを進めても、今後どれほど厳しい状況になるのか予想もつかない。また、体力のない中小企業の存続を危ぶむ話もかなり聞こえてきている。今後は、網の目のような連鎖倒産が危惧される。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
雇用 関連	良くなる やや良くなる	求人情報誌製作会社 (編集者) 職業安定所(職員)	・農作系の募集で、収穫時期に合わせた求人が出てくるのと、夏の短期のアルバイト募集が出てくるのを予想して、若干だが良くなるのではないかと考えている。 ・今夏に商業施設の進出が2件予定されており、雇用需要が見込まれる。
	変わらない	求人情報誌製作会社 (編集者) 求人情報誌製作会社 (編集者) 職業安定所(職員) 職業安定所(職員)	・生産及び加工を含め、農業関連は堅調と考えられるが、建設関連及び自衛隊の再編に伴う人口の減少が心配される。 ・今のところ、求人件数が大きく変化する要因は見当たらない。ただし、雇用形態の多様化がかなり進んでおり、求人件数と景気との関連性が見えにくくなっている。 ・景気の先行きに不透明感があり、とりあえずは就職したものの、賃金や職場環境等に満足できず、在職中に再度職業安定所に来所するという傾向がみられる。 ・有効求人倍率は9か月連続して前年同月を上回っているものの、全道平均より低い水準で推移している。また、パート求人が増加傾向にある。
	やや悪くなる	人材派遣会社(社員)	・イラク情勢、SARSの影響で航空関係、旅行関係の派遣先で影響が大きいとみられる。
	悪くなる		

## 2. 東北(地域別調査機関:(財)東北開発研究センター)

(-:回答が存在しない、:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	住宅販売会社(経営者)	・客の動き、とくに展示場来場者の動きが良く、連休に期待できる。 ・今年に入り、住宅金融公庫の金利が数度下げられており、現在2.15%と低いレートである。また公庫も活発に動いているため追い風となっており、好調が当面続く。
	やや良くなる	コンビニ(エリア担当)	・高額ハイウェイカードの特需があったが、まとめ買いをした客が使い切り、少しずつ需要が出てきている。
		衣料品専門店(店長)	・バーゲンに集中する商戦になる。安さで一気に集客を行い、そこに仕掛けていけば上向く。しかし、その前後は厳しいと考えている。
		高級レストラン(経営者)	・景気は良くなるまでも、使うところは使うため、これ以上落ちようがなく、ほんの少しでも回復に向かう。
		一般レストラン(経営者)	・世の中全体の景気が悪いため、レストランウェディングで小じんまりやるのが流行しており、当店でも数件の予約を受けている。
		都市型ホテル(スタッフ)	・4月27日に開催したイベントでは、以前にも増してカップルでの来館が多い。多分イラク戦争が終わり、一時の悲観的な状況から、海外旅行に行けるというプラスの方向に動いている。 ・4月は苦しかったものの、販売量の動きとしては、今後、若干ではあるが、明るい見通しが立っている。
	変わらない	商店街(代表者)	・中心部商店街は、店舗の構成数には変化がないが、質的に企業形態が変わってきている。地元商店が中央資本に取って代わられており、危惧している。
		百貨店(売場主任)	・民間の給料が上がっておらず、夏のボーナスも期待できないところに、5月からの酒税などの増税により、生活防衛意識はますます強まる。
百貨店(売場主任)		・入店客数の増加は期待できないが、入店者の傾向は、癒し系、嗜好系など自分自身に対する商品が売れている。従来の商品展開では限界がある。	
百貨店(企画担当)		・競合店が閉店するが、当市でも郊外店への客の流出が大きく、売上は変わらない。	
百貨店(広報担当)		・良い悪いを繰り返すジグザグな景気の状態は、しばらく続く。極めてイメージ消費の要素が強い個人消費は、政治経済の停滞感から抜け出さなければ、変わらない。	
百貨店(売場担当)		・春物の動きも去年に比べ、あまり変わらない状況であり、ボーナス払いの客が減少している。	
	百貨店(販促担当)	・当県では、景気のいくつかの数値が下げ止まっており、景気が極端に変化することはない。 ・ヤングキャリア層が順調な反面、ミセスゾーンのMDが苦戦を強いられており、デコボコが生じている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経営者）	・やや良くなる理由もなく、やや悪くなる理由もない。SARSに関する客からの問い合わせもあるが、今のところ大きな影響はない。
		スーパー（経営者）	・今の客の消費動向や、消費に対する基本的な姿勢は、今後も変わらない。経済的に急速な回復などは見込めず、家計も変わらないため、シビアさは続き、一品単価はさらに下がり、小売業は一段と厳しくなる。
		スーパー（店長）	・価格競争も下げ止まりとなっており、一品単価が99.5%とほぼ前年並みになってきている。しかし、来客数は前年比100%と伸びが低下しており、この傾向は今後も続く。
		スーパー（店長）	・来客数や買上点数はなんとか維持しているが、一点単価は依然として低く、必要で、かつ安くなければ買わないという傾向は今後も続く。
		スーパー（店長）	・発泡酒増税に向けたまとめ買いはあったものの、この反動が来月以降に出てくる。
		衣料品専門店（経営者）	・客の買い物に対する考え方が変わり、不要、不急のものは安くても買わないという客が増えており、この状況では景気は良くなり、悪いままの状態が続く。
		衣料品専門店（経営者）	・4月に入り、天候も春めいてきて、春物商品が活発に動き出している。商店街の中の百貨店の閉店セールにより、一時的に8年前ほどの通行量となったものの、それ以降の対応が、商店街、各個店の課題となっている。
		衣料品専門店（店長）	・普段着、お出かけ着といったカジュアル化の波に沿って提案している商品の動きは、今後も期待できるが、ビジネス衣料の需要減を補うには至らない。
		乗用車販売店（経営者）	・管理内のユーザーの受注ベースはそこそこであるが、新規の成約率が前年に比べ半減しており、この傾向は今後も続く。
		乗用車販売店（従業員）	・とくに良くなる要素が見当たらない。投入予定の新型車は、高額車であり、販売に結びつくとは思えず、ここ数か月はこのままの状態が続く。
		その他専門店〔家電〕（経営者）	・販売量があっても、単価が著しく低い。また、売れる商品と売れない商品の差が大きく、プラズマテレビは売れても、パソコンは低迷続きなど、全体的に伸びがなく、先行きが不透明で、今もって何ら変化が見られないため、今後良くなるという見通しは立たない。
		その他専門店〔酒〕（営業担当）	・新年度が始まり、行楽シーズンに入るため、酒の動きが期待できる。とくに近場の国内旅行が増えると予想されるので、多少プラスになるものと期待している。
		高級レストラン（支配人）	・宿泊については、前年の予約件数とほぼ同水準である。 ・宴会では、6月の婚礼予約が少ないものの、基本的にはほぼ前年並みである。 ・レストランの予約状況も前年同様である。
		スナック（経営者）	・ちょっと上向きであり、リピーターの数が増えている。このままで推移するか、もう少しの上乗せがあるかもしれない。
		観光型ホテル（経営者）	・シーズンとともに、遠方からの客が増え始め、芸者なども入るようになり、館内に多少賑やかさが戻っている。また、ゴルフ客も増え始めているが、総体では並みである。 ・また当社の高単価のホテルは、今月大変苦戦している。
		通信会社（営業担当）	・通信業界の動向では、固定電話から携帯電話への料金の引き下げがあり、IP電話の普及も本格化するため、売上は減少し、悪い状態が続く。
		遊園地（経営者）	・この時期は、団体客と一般客の二本立てになるが、団体客については、少子化により長期的に弱含み、一般客については、同業者とのキャンペーンやカード会社との提携、販促により、下支えを図っているが、SARS、株安、北朝鮮などと心理的に悪い要素に事欠かない状況である。
		美容室（経営者）	・現在の膠着状態が、3か月、半年、下手をすれば年度末まで続く。控えるにも出すにも、躊躇するような世相である。
		住宅販売会社（従業員）	・ローン審査が依然として厳しく、逆に客の側から融資額を絞る動きが出ているため、当社から提示する価格と客の条件が合わず、契約に至らないケースが出てきている。また、二世帯住宅ではなく、自分の世代で終わらせる安価な住宅を購入する動きも出ており、需要は若干増えるかもしれないが、全体では相殺され、あまり変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなる	一般小売店〔書籍〕 (経営者)	・新入学時期も終え、一般売り主力に戻るが、底上げになる商品が雑誌、書籍ともない。
		スーパー(企画担当)	・年内は、さらに競合出店の増加が見込まれており、客の分散が続く。営業時間延長を含めた積極的な改善施策は続けるが、依然として厳しい状況が見込まれる。
		コンビニ(エリア担当)	・株安という問題があり、大手企業の決算が減益になっており、SARSや北朝鮮問題など、不安材料しか見当たらない。
		コンビニ(エリア担当)	・発泡酒やタバコの増税によって、一時的に駆け込み需要があるものの、長期的に見れば、売上は厳しい展開になると予想している。
		コンビニ(店長)	・イラク戦争は終結したが、SARSや北朝鮮問題など世界情勢は不穏な中、経済問題は小泉政権では後回しになっており、何も行われておらず、経済は悪くなる一方である。
		衣料品専門店(経営者)	・イラク情勢、SARSなどにより、先行き不安で購買意欲に影響が出る。
		家電量販店(店長)	・今までは、買い控えムードの会話であったが、最近では買い諦めといった雰囲気の話が増えており、2~3か月先になれば、それが顕在化する。
		乗用車販売店(経営者)	・新車関係では、今後も低価格車両への移行が続くとともに、車両購入に係る客の金回りが悪くなる。 ・中古車やサービス需要は、新車と異なり、上向く。
		乗用車販売店(経営者)	・自動車販売において、3月までのグリーン税制の駆け込み需要の影響が予想以上に大きく、合わせてイラク戦争やSARSなど、消費の冷え込みが、予想通りに大きく、来客数が大きく減少している。
		住関連専門店(経営者)	・隣のデパートが今月23日で閉店となっている。同じ駐車場を使っているため、車を駐車しにくくなっている。また、これからの当店の集客に問題が出てくる。
		住関連専門店(経営者)	・盛夏的商品が前倒しで売れているが、今後ヒット商品が出ない限り、夏物の売上増は望めない。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕(営業担当)	・例年、スタンド業界の夏場は思わしくないが、今年度はさらに良くなる見通しが立たない。イラク戦争が終わり、価格下落を強めると見ている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕(営業担当)	・イラク戦争も収束し、原油生産が増えており、価格低下を見越した、販売価格の先取り値下げが見られ、今後ますます小売店におけるマージンが圧縮される。
		高級レストラン(支配人)	・予約受注状況が、前年同日と比較して、非常に悪い状況であり、先行き不安である。
		観光型旅館(経営者)	・数的に多いわけではないが、インバウンドの台湾の客にSARSの話題が出てきている。出入国検査とあわせて、緊急対策と強力な対外支援が必要である。海外へのアウトバウンドが減少している分は、決して国内に回ってはいない。株価対策を含め、経済対策を民間の言い分を聞いてしっかり実施してもらいたい。銀行と政府にこの惨状をしっかりと見てもらいたい。
		観光型旅館(経営者)	・予約状況は相変わらず直前予約のため、予約による景気の動向はつかめないが、このところの流れでは、宿泊よりも日帰りレジャーにシフトしている。 ・金の使い方もますますシビアになっており、売上も人数ほどには上がらないという状況が続く。
都市型ホテル(スタッフ)	・新年度に入り、消費マインドがますます冷え込んでいる。当地においては、ホテル競争が一段と激化し、ここ1~2年が生き残りを賭けた戦いの様相である。当社においても、戦略的に他社との差別化を図っているところである。		
通信会社(営業担当)	・他社を含め、格安のIP電話サービスのメニューが多様化してきている。		
観光名所(職員)	・SARSが旅行動向に悪影響を与え、とくに外国人客の減少が大きい。		
	悪くなる	スーパー(店長)	・2、3か月以内に、近隣に競合店が出店予定であり、また、スーパーマーケットにとっては、脅威であるスーパーセンターの出店がある。小売業の淘汰の時代に入り、客も安い店を選ぶ傾向にある。
		衣料品専門店(店長)	・イラク情勢の影響などで、ガソリンが値上がりし、株価が暴落している。こういった報道により、客の財布のひもは一段と固くなっている。来客数は前年実績を上回っているが、単価が常に前年実績を下回り、売上も前年を下回っている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	新聞販売店〔広告〕 (店主)	・あくまでも、ここ2か月の傾向が続けばという前提であるが、チラシが増えれば、消費者の選択が増え、それが購買行動につながることを期待している。
	変わらない	食料品製造業(経営者)	・海外渡航自粛が、夏休みにも影響するので、国内消費にはプラスであるが、一方で、企業倒産が増加しているのがマイナスであり、全体として消費の量は増えないが、消費の質としては、新市場開発の余地がある。
		電気機械器具製造業(経営者)	・新年度に入っても何も状況は変わっておらず、各取引先は様子見の状態、先々の動向はつかめない。36年間も製造業に携わって来たが、このような不況は経験がない。
		電気機械器具製造業(総務担当)	・受注量は、今月よりやや増える予想を立てているが、毎月の生産計画が明確になる段階で、下方修正を頻繁に行っている。
		建設業(経営者)	・現場での合理化による経費の節減と、しっかりした仕事をするることによる客の口コミによるセールスに期待し、受注の拡大を目指す。
		経営コンサルタント	・農業生産者が流通分野に入り込んだり、新たな加工食品を開発するなどといった新たな動きはあるが、その効果が出るにはまだ時間がかかる。
		その他企業〔管理業〕(従業員)	・今までは、忙しいほどの受注はあったが、結果が出るまで会社側は良くなったと言わず、従業員の賃金アップもない。
	やや悪くなる	繊維工業(総務担当)	・各企業の努力もそろそろ限界に来ている。それでも、前年比横ばいを維持するため、収益よりも企業生命存続のための資金調達に各産地の企業は忙しいようである。
		一般機械器具製造業(経理担当)	・携帯電話用は、好調さが持続し、為替もやや円安傾向で安定的に推移しており、輸出環境は良い状態が続くが、自動車販売の一部に陰りが出てきており、自動車用部品では、やや不安がある。 ・アジア地区ではSARS問題があり、アジアでの生産に影響が出てきて、アジア向けの輸出が減少する可能性がある。
		輸送業(従業員)	・SARSの長期化の影響で、中国での生産能力が低下し、輸出入貨物量が大幅に減少する可能性がある。
		輸送業(経営者)	・イラク問題や、SARSなどの社会不安によって、やや悪い。
		その他企業〔企画業〕(経営者)	・業種により一概には言えないが、印刷業はすべての業界との取引があり、景気の一段階前に需要が出てくるが、その動きが小さい。
		悪くなる	繊維工業(営業担当)
		コピーサービス業(経営者)	・仕事の絶対量が少なく、小さな仕事にも業者が群がり、単価が低下し、利益が減少しているのが現状であり、この状況は当面続く。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社(経営者)	・工業用品関係の設計者などは、人手が不足している。スキルのある技術者の応募が少ない。東北地方における設計者の流動性は、まだまだなのかもしれない。
		人材派遣会社(社員)	・半導体の市況が不安定なため、不活発な地域もあるが、少しずつ増員の動きもある。この周辺の取引企業では、求人が増えていく見込みである。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	・昔であれば、夏のボーナス支給後に転職する人が多かったが、今はそういった動きはない。現在は不景気で仕事もなく、登録者数は増えてもあまり変わらない。
		新聞社〔求人広告〕(担当者)	・地元百貨店閉店の影響は大きい。昨年秋に倒産した大型ショッピングセンターの経営陣が替わって、6月に再オープンする。約150名の雇用が見込まれている。
		職業安定所(職員)	・新規求職者は減少しているが、在職中の求職者は増加しており、建設業をはじめとして人員整理の動きがある。
		職業安定所(職員)	・依然として十数人から数十人規模の人員整理が、製造業や建設業で見られ、回復の兆しが見えない。
		職業安定所(職員)	・新規求職者数は、前年に比較して減少傾向にあり、事業主都合離職者数も大きく減少はしているが、今後の不良債権処理や最近の株安などの影響で、求職者数は増加に転ずると見ている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・求人数は増加しているものの、5月から6月にかけて企業整理に伴う離職者が発生する予定である。 ・SARS問題により中国をはじめとする東南アジアの輸出関連に影響が出る。
	やや悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・イラク戦争が落ち着いたかと思ったら、今度はSARSで、旅行会社はかなりの痛手を受けている。こういった状況の中で、観光旅行がこれから活発になると期待していたが、厳しくなるという話である。
	悪くなる	アウトソーシング企業（社員）	・平成17年の大合併を目指し、市町村が動いているため、新しい予算は付かない状況であり、当社も県内だけでなく、他県への進出を始めているが、他県の業者も当県に進出して来るため、競争が激化する。

### 3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	スーパー（店長）	・3月頃から新しく挑戦している売出しが浸透しつつあるので、このままいけば、やや良くなる。
		コンビニ（経営者）	・戦争後に重機が売れ始めた関係から、周辺の大手建設機械メーカーで従業員の動きがあり、当店への来客数が増加している。近隣のコンビニ2店舗が閉鎖したこともあり、多少上向く。
		コンビニ（店長）	・4月下旬に統一地方選挙がある関係で、来客数、売上ともに減少している。3か月後は選挙がないので、いくらか回復する。
		乗用車販売店（営業担当）	・商品のモデルチェンジとボーナスの時期が重なり、販売量の増加を見込める。
		その他専門店〔携帯電話〕（従業員）	・4月に入ってからは、進学、就職シーズンの勢いはなくなり、販売数が急激に減少している。携帯電話の新商品の発売が5月以降に予定されているので、今は買い控えている客も多いが、発売後はやや良くなる。
		通信会社（社員）	・第三世代携帯電話については、新機種投入以来、販売は好調で、在庫不足の状態が続いている。
	変わらない	一般小売店〔金物〕（経営者）	・名刺のご開帳が終わり、反動で、金物などの消費も若干減少する。消費の伸びる時期ではあるので、相殺すると変わらない。
		百貨店（売場主任）	・3月に全店リニューアルをしたので、今後は効果が出てくる。
		スーパー（経営者）	・TV報道などの影響から景気の不透明さは一段と深刻化し、必需品以外の購入は、一層厳しくなっている。
		スーパー（統括）	・消費者の生活防衛意識は高く、それを抑えるだけの、経済環境に変化をもたらす与件は見当たらない。県内の基幹産業であるIT関連が復調の兆しを見せているが、まだ当面は横ばいである。
		スーパー（販売担当）	・来客数は前年並みであるが、客単価、売上が前年の90～95%であるという状況がこの数か月続いており、今後も大きく変わる要素がない。
		コンビニ（経営者）	・新しいスーパーが2店出店しており、営業時間が非常に長いので影響を受ける。とくに良くなる兆しは何もない。
		コンビニ（経営者）	・来客数が多少増加しても、客単価が低下するので、変わらない。
		衣料品専門店（店長）	・ボーナスシーズンであるが、これといって夏のヒット商品がなく、消費はあまり盛り上がらない。
		家電量販店（店長）	・売上は下降気味で変わらない。何かが売れているというような話題があれば、少しは活力になるが、良い話題も少ない。地上波デジタルがどうなるかが、業界の大きな関心事である。
		乗用車販売店（経営者）	・先行きの不透明さに歯止めがかからない。新型車の登場により、市場に若干活気が出るが、長続きはしない。
		乗用車販売店（販売担当）	・イベントを毎週開催しているが、来客数は減少し続けている。来店した客も小さな車しか見ず、高価な大型車は全く見えない。
		高級レストラン（店長）	・継続的な景気回復の要因が何もなく、消費者心理は冷え切っている。個店の努力で低水準ながら現状を維持しているが、根本的な解決にはなっていない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（従業員）	・夏休みの家族旅行に期待しているが、前年同様、単価の安いツアーに人気が集まりそうなので、売上はあまり期待できない。
		ゴルフ場（支配人）	・選挙も終わり、新緑の季節を迎え、ゴルファーもストレスを振り払うようにプレーをしている。今後は小グループが動き出すことを期待している。
		ゴルフ場（副支配人）	・2、3か月後の予約の引き合いがあり、入場者数は増加するが、単価が下がっている。競合の料金も随分値引きされていることから、総じて変わらない。
		競輪場（職員）	・ボーナスシーズンとなるが、今年はボーナスは出ない会社もあるという話なので、変わらない。
		その他サービス〔自動車整備業〕（事務長）	・整備、入庫は若干増加したが、客の財布のひもが固く、比例した売上は見込めない状況である。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・近隣の大きな建設会社がまた倒産した。下請け業者や関係者が近くに大勢いるので、とても景気が良くなるとは思えない。
		商店街（代表者）	・オープンしたばかりのショッピングセンターとアウトレットモールの影響が出てくる。商圏人口は限られており、景気も良いとは言えないので、客は買回り品、最寄品を含めて、新しい商業施設に向かう。
		スーパー（店長）	・発泡酒、ワインなどの酒税増税、たばこの値上げが控えており、周囲の競合店の状況から考えても、景気が上向く要因はない。価格を下げて客の購買意欲をかきたてる作戦をとっている。
		スーパー（経営企画担当）	・5月中旬にディスカウントの大型スーパーが近くに出店する予定で、影響を受ける。
		コンビニ（経営者）	・商圏内に強力な競合店が出店するため、従業員の接客、発注等の管理レベルアップの見直しが必要となる。着実に利益の出せる体質にしておく必要がある。
		乗用車販売店（販売担当）	・分社化で各都道府県の独立採算となったが、今後は親会社からの宣伝等のフォローは期待できず、自社で宣伝をして売っていかないといけなくなるので、厳しい。
		住関連専門店（店長）	・4月からの健康保険料の負担増加、5月からの酒税法改正による酒単価の上昇により、個人の負担が増えているので、やや悪くなる。
		スナック（経営者）	・予約の動きが低調で、あまり期待できない。季節的にも落ちる時期である。
		旅行代理店（経営者）	・SARSの影響が長引きそうなので、引き続き東南アジア方面の旅行の取消しや延期があり、景気はやや悪くなる。
		旅行代理店（経営者）	・SARSの問題は中国に限らず、世界に飛び火している。日本だけが水際で止められるとは思えず、いずれ国内で発病者や死亡者が出る。中国の北京で起きているようなパニック状態がもし起きたらと、先行きを懸念している。
		旅行代理店（従業員）	・SARSの影響が、世界各国で出てきているため、今後の取り消しが予想される。
		旅行代理店（営業・管理担当）	・中国のSARSの終息がどこまで先かわからないので、やや悪くなる。
		タクシー運転手	・4月は歓迎会等で一時的に売上が伸びたが、5月以降は連休でお金を使ってしまう、客が飲み会等を控えるので、厳しい。
		タクシー運転手	・ハローワークの駐車場はいつ通っても列ができています。大手建設会社の倒産があり、さらに失業者が増加するので、やや悪くなる。
		住宅販売会社（経営者）	・産業が少なく、建築、土木に携わる人の比率が多い地域なので、公共事業の削減による影響で、倒産が増加している。景気は回復どころではなく、下降線をたどる。
	悪くなる	一般小売店〔衣料〕（経営者）	・イラク戦争が終わって、世の中がどうなるのかわからないし、SARSが日本にも襲ってくるかもしれない。悪い方向に進んでいくのではないが、すべての面で明るい材料がなく、景気は低迷する。
		百貨店（販売促進担当）	・5月はGWの海外旅行が減少した影響で、一時的に国内の消費が高まる可能性がある。2、3か月先は、中国の生産減少など、多方面にSARSの影響が出て、一層、消費が冷え込む。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（販売担当）	<p>・選挙が終わってからもゴールデンウィーク用の購買はなかった。今後は4、5キロと10キロ離れた近所に、相次いで大型店がオープンするので、大きく影響を受ける。商店街の来客数は激減し、売上も減少して、悪くなる。</p> <p>・会合、宴会、宿泊、各レストラン、すべてが悪くなっている。ボーナスも出なくなったので、今後は非常に大変である。</p>
		都市型ホテル（スタッフ）	
企業動向関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（総務担当）	<p>・モデルチェンジして新車両が5月に発売予定で、フル操業の状態が続く。7月頃までは、売上が20%伸びると見込んでおり、良くなる。</p>
	やや良くなる	一般機械器具製造業（経営者）	<p>・自動車関連の部品は、先月に引き続き、高水準で横ばいであるが、建設機械関係部品は、徐々に増加傾向にあり、今後はやや良くなる。</p>
		電気機械器具製造業（経営者）	<p>・今は耐え忍ぶ時で、リストラをしている。今後は、公共事業が少しは出てくるので、やや良くなる。</p>
	変わらない	化学工業（総務担当）	<p>・新しい期が始まり、ユーザーから今期の発注予想が出てきたが、大幅な増加傾向にはない。逆に、価格の見直しを求められるものもあり、先行きは厳しい。</p>
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	<p>・平成15年度の国の予算、県、地方ともに前年度と変わらない。良くなる状況は1つもない。</p>
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	<p>・新しい期に入り、多くの会社で生産計画説明会が開催されているが、取引先の自動車、建機関連で、悲観的な予測を立てている会社は、ほとんどない。2～3か月先は、現状のまま推移する。</p>
		精密機械器具製造業（経営者）	<p>・中国のSARSの影響もあり、各企業先行き不透明である。</p>
		輸送業（営業担当）	<p>・前年並みの貨物量は確保しているが、コスト削減で、荷主から料金値下げの要請が出ている。</p>
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	<p>・今までもご開帳後の参拝客は、極端に減っていることから、今後の反動が心配である。</p> <p>・民事再生法を申請したゼネコン関係者によると、土木、建築の仕事は皆無に近いということであり、設計会社の中には、リフォームのコンサル事業を始めたところもある。</p>
		経営コンサルタント	<p>・新しい引き合いや商談案件等はあるものの、見極めが必要である。</p>
	やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	<p>・1～4月は、設備投資関連の仕事が動いたが、4月以降、全然動きがみられないので、今後はやや悪くなる。</p>
		金融業（融資担当）	<p>・取引先のビル管理会社では、夏頃までに、入居しているテナントが軒並み撤退したり、事務所の面積を半分にしたりとすることで、賃料収入が減少する。個人客は、ボーナス時に引かれる健康保険料の増加で可処分所得が減少し、購買力が落ちる。</p>
		広告代理店（営業担当）	<p>・大手支店の広告は、本社が一括して作成する傾向が強くなっており、地場企業の広告出稿の減少をカバーしきれない。</p>
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	<p>・外部環境に不安要素が多く、設備投資を控える客が多い。今後数か月は、このまま推移する。</p>
その他サービス業〔放送〕（営業担当）		<p>・企業が広告の効果を上げるため、コマースの多様化を進めており、期間が短く、小口化している。新規のスポットコマースが出ているが、撮影経費等がかさみ、相対的に受注、利益とも減少傾向にある。</p>	
悪くなる	食料品製造業（営業統括）	<p>・イラク戦争をはじめ、SARS問題、株価の低迷、5月からの酒税増税など、どれをとっても先の明るい話題はなく、ますます消費者の購買意欲は低下する。</p>	
	一般機械器具製造業（経理担当）	<p>・大企業はほとんど海外生産に移行しているので、悪くなる。</p>	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	<p>・5月に関西で国際宝飾展があるが、SARSの影響で、顧客から香港、シンガポールからの出展者が来るなら行かないといった反応が出始めている。海外に行かない分、ブランド商品の販売は堅調に推移するが、一般的には厳しい。</p>	
	建設業（総務担当）	<p>・受注が大幅に減少しており、次年度の売上も大幅減の見込みである。今後も、支出を見直し、できるところから実施していく。</p>	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
雇用 関連	良くなる やや良くなる	職業安定所（職員）	・ 求人が多少、増加傾向、求職者が減少傾向にある。大型百貨店が夏に新店舗をオープンする予定なので、やや良くなる。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・ 仕事量は安定しないが、3か月前よりやや多くなっている。
		人材派遣会社（経営者）	・ IT関連の派遣需要は、依然として活発である。他の業界は、リストラが進んだのか、全く動きがない。例年、春から夏にかけて、イベントなどの単発的な業務の需要があるが、今年は動きがない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ 中国におけるSARSの問題、イラク戦争の戦後処理もあり、まだ不透明感がある。
	職業安定所（職員）	・ 菓子製造、医療器具製造、スピーカー開発製造、計量器具製造など、今後もある程度まとまった企業整備が予定されている。	
	民間職業紹介機関（経営者）	・ 一部に黒字基調がさらに上昇中の企業もみられるので、期待したい。業種内での自然淘汰が、猛烈な勢いで進んでおり、とくに建設業では会社更生法の申請企業が目立つ状況である。中国進出している製造業では、SARSの影響でマスクを買いに走り回っている。人の動きが急速に鈍化しているので、影響が心配である。	
	やや悪くなる	学校〔短期大学〕（就職担当）	・ 4月に開催する地元新聞社主催の、16年3月卒業予定者対象の就職面接会は、参加企業が38社で、参加企業、求人数ともに前年比70%程度である。求人内容も、設計、情報処理など専門的な技術を要する職種が多く、事務、販売職などは約半分である。
	悪くなる	人材派遣会社（社員）	・ 前年10月にも1件話があったが、大口の取引先から取引環境が悪化したので、取引を停止したいという話が出ている。今後も、同様の話が出てくるが見込まれる。

#### 4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・ 4月は品物の動きが良く、売上も増加している。この状態が、5月、6月も続く。
		スーパー（経営者）	・ 4月は、天候が良くなかった割には、健闘している。今後天候が回復すれば、多少は良くなると期待できる。
		衣料品専門店（店長）	・ この2、3年、来店のなかった客が、今年になって動き出している。これらの客の動きが活発化すれば、やや良くなる。
		高級レストラン（宴会予約担当）	・ 販売促進の施策が当たる可能性がある。販売量が増加すると期待している。
		旅行代理店（従業員）	・ SARSが最大の懸案であるが、2、3か月先には改善する。
		通信会社（企画担当）	・ インターネット新製品の開発、販売に期待している。
		住宅販売会社（経営者）	・ イラク戦争、SARS、株価問題などは、2、3か月後には落ち着き、住宅購入に対する慎重な姿勢も変化する。 ・ 贈与税改定により、親からの資金援助で住宅を購入できる人が増加する。
	変わらない	一般小売店〔衣料・雑貨〕（経営者）	・ 客の購買意欲はあるので、夏の行楽シーズンにかけて気温が安定すれば、上質な商品に期待がもてる。
		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・ 今年に入り、昨年比10%減の状況が続いており、今後も同じように推移する。
百貨店（売場主任）		・ 遠方に出かける人が少ないためか、百貨店の来客数、販売量、売上も増加しているが、単価の回復は見込めない。	
百貨店（売場主任）		・ 株価、SARS、失業率など、厳しい条件が多く、状況は今後も変わらない。SARSの影響で海外旅行が減少した分、国内旅行や国内消費の需要が高まることも考えられるが、商品別に良い物と悪い物が出てくる。	
	百貨店（営業担当）	・ 海外旅行の低迷など、国内需要を刺激する要素はあるものの、百貨店での買物に振り替わらない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・子供衣料や肌着は売れているが、紳士、婦人衣料の売行きは企画次第である。 ・化粧品やサプリメント等の流行品は売れており、データを分析し、商品を手配すれば、売上は上がる。 ・話題性、機能性、価格等、客のニーズに的確に対応すれば、売上が増加する可能性はある。
		スーパー（店長）	・イラク戦争は終結したが、SARSの問題等もあり、海外旅行も控えられている。今の景気がすぐに回復するとは思えず、現状がしばらく続く。
		スーパー（統括）	・日常業務の中で改善できることは改善しているが、小手先の手法で本格的な改善は望めない。
		コンビニ（経営者）	・客は、目新しい商品があると多少購入しているが、財布のひもは相変わらず固い。
		衣料品専門店（経営者）	・高額品を購入できる人とできない人の差が、明確になっている。
		衣料品専門店（経営者）	・今後3か月は、夏物衣料の最盛期になるが、メーカーの生産量が多くないので、売れ筋商品については、追加しても販売量を増やすことが難しく、売上増加につながるようなヒット商品にはならない。
		家電量販店（店長）	・家電製品全般で単価が下げ止まらない。季節品が平年並みに動けば期待も持てるが、大きな変化はない。
		家電量販店（店員）	・広告で税込み10円、100円等の売り込みを実施すると、多くの客が買物に来るが、それ以外は、大型商品を購入する客はいないので、厳しい状況が2、3か月先も続く。
		乗用車販売店（営業担当）	・客との話から、先行き不透明感への不安が強く感じられる。
		その他専門店〔眼鏡〕（店員）	・この時期に動くはずのサングラスも、売上の昨年比が85～90%にとどまっており、天候が良くなっても売上が回復する状況にはない。
		一般レストラン（経営者）	・ケイタリングが多少伸びているが、店への来客数が減少しているため、全体では変わらず、この状態は3か月先も変わらない。
		一般レストラン（経営者）	・回復の兆しが見えても、SARSなどの外的要因がその芽を摘んでしまう。
		一般レストラン（店長）	・SARSや景気悪化の報道などがあり、消費者の財布のひもが固い。単価が上がらず、来客数も伸びないという状況が続く。
		都市型ホテル（スタッフ）	・SARSの影響が続き、インバウンドツアーの回復には、しばらく時間がかかる。
		旅行代理店（従業員）	・SARSの進展次第であるが、これ以上悪くなることはない。
		通信会社（営業担当）	・契約数は変わらないが、解約数が下げ止まってきたことから、当面はこの状態が継続する。
		ゴルフ場（支配人）	・2、3か月先の予約状況が、あまり上向いていない。
		その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	・今年の連休は、長期休暇を取りにくい日程のため、近場の娯楽が見直され、レジャー業界にとっては良い方向に進む。
		その他サービス〔語学学校〕（総責任者）	・厚生労働省の給付金コースの申込者が多い。不景気だからこそ、資格等を身につけたいという客の動きだと考えられるので、申込者が多いということ自体が、景気の厳しさを表している。
		住宅販売会社（従業員）	・来客数が減少傾向にある。
	やや悪くなる	一般小売店〔家電〕（経営者）	・最近では、エアコンの買い替えなどの話もなく、客の反応が悪い。
		一般小売店〔靴・袋物〕（従業員）	・イラク問題、SARS、北朝鮮問題等、海外情勢が落ち着いた限りの限り、旅行業界の回復は見込めない。
		百貨店（企画担当）	・客の購買意欲が感じられず、先行きは楽観できない。宣伝を強化するなど、あの手、この手で頑張っても、前年の売上を確保することすらできない状況が続いている。
		百貨店（企画担当）	・特売会や値引セールを行っても、売上が伸びず、回復が難しい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（営業担当）	・4月は、気温の低い日が続き、雨天が多いことから、春物衣料品が低迷している。 ・イラク戦争の戦後復興が進まないこと、SARS問題の深刻化から、景気への影響が懸念される。 ・天候の動向次第では、初夏物衣料品の売上が低迷する可能性がある。
		百貨店（販売促進担当）	・新規オープンした商業施設が人気であり、百貨店業界には元気がない。
		百貨店（統括）	・客が、夏物商品を買控えている。 ・各取引先で、生産が縮小されている。
		スーパー（店長）	・ゴールデンウィーク、母の日等の行事に対する消費の盛り上がりは欠け、SARS等による影響で、海外旅行も厳しい。 ・大型スーパーの出店により、食料品の売上は今後も厳しいと予測される。
		衣料品専門店（経営者）	・このままでは、セール時期が早まり、正規価格品の消化率が低下し、利益確保に苦戦しそうである。
		衣料品専門店（次長）	・昨年同時期と比べ、来客数、買上点数が明らかに減少しており、客単価も低下している。売れ筋商品が見当たらない。
		乗用車販売店（販売担当）	・先行き不安が多く、客は車両を修理して乗っている。車検間際の客に促進しても、なかなか台替えに結びつかない。
		乗用車販売店（店長）	・夏のレジャーシーズンに向けた需要に期待しているが、今年は、例年のように販売台数が伸びない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・SARSの影響で、東南アジアからの宿泊客が見込めない。いつ回復するか分からず、見通しが立たない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・SARSの影響が続く。
		都市型ホテル（スタッフ）	・株主総会の経費削減と参加人数の減少により、先行きは厳しい。
		タクシー運転手	・深夜、駅で待機していても、人の出歩いている姿をほとんど見ない。今後も回復は難しい。
		観光名所（職員）	・この2、3か月、来客数が昨年を上回ることがないので、今後はやや悪くなる。
		美容室（経営者）	・イラク戦争の後遺症やSARSなどが、経済にマイナスになる。
		悪くなる	
スーパー（運営担当）	・SARSが上陸した場合、相当に大きな経済的影響が出る。		
コンビニ（経営者）	・この2か月、とくに4月の動きから判断すると、先行きにかなり不安を抱く。		
旅行代理店（従業員）	・SARSの影響によって景気が悪くなる。		
旅行代理店（支店長）	・イラク戦争は落ち着いた感があるが、回復にはまだ時間がかかる。SARSは今後さらに拡大するので、落ち着くまでには最低半年は必要である。		
その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・単価を下げて、生徒の数が増加しない。		
企業動向関連	良くなる やや良くなる	住宅販売会社（経営者）	・当社のような中小企業に対する金融機関の融資が一層厳しくなっている。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・常連の得意客ではないところからの注文が増加している。酒屋が社員に名札を作ったり、寿司屋が名刺を作り変えるなど、どうしても必要という以外の部分に経費をかける傾向が出てきている。
変わらない		繊維工業（経営者）	・イラク問題、SARS問題、北朝鮮問題もあり、当分の間、景気は良くならない。
		化学工業（従業員）	・生産予定量の修正が、下方のまま変わっていない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・受注量はそれほど変わらないが、新しい仕事が入ってきていない。
		金属製品製造業（経営者）	・過去の半導体、ITのように、景気を押し上げる要素が見つかからない。
		建設業（経理担当）	・企業の設備投資関係の案件が、いまだに全然ない。
		通信業（営業企画担当）	・光回線やDSL等の普及により、通信回線の大容量・高速化の流れが加速しているが、価格競争にも拍車がかかっている。より高品質、低価格なサービスが求められる中で、ライバル会社の値下げ等により、現状から変化はない。
		金融業（審査担当）	・各業種とも、依然として収益率の改善が見受けられない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（渉外担当）	・低金利が続いているが、企業の資金需要は一向に回復しない。経常的な資金繰りを賄う借入はやむを得ず行つたが、新規投資向けの資金需要はほとんどない。借入を削減するという考え方が、経営者に定着している。
		広告代理店（従業員）	・この数か月、毎月決まった仕事があり、今後も続いていく。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・IT関連設備の投資について、顧客の平成15年度予算執行がまだ行われず、実際に予算がつくのか、難しい状況になっている。
	やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・最近、受注が徐々に減少している。
		精密機械器具製造業（経営者）	・周りの会社が倒産している。
		不動産業（総務担当）	・新規オフィスの供給ラッシュが継続するため、オフィス市場に明るい材料がみられない。
悪くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・主力商品である弱電の部品が半減する。中国で部品を生産しているが、SARSの影響で日本に輸入できなくなり、品物が組み上がらなくなっているため、受注が減少している。	
	輸送業（総務担当）	・得意先からの発注が、8月くらいまで、かなり減少する。運送料は値下げされ、国内の売上の見通しは厳しい。現在、得意先の輸出の特需で何とかしのいでいる状況であり、社内体制の見直し強化などの経費削減を行わない限り、特需後は、会社の存続さえ危ぶまれる。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集担当）	・今後も、街の活性化に期待でき、新規出店に伴い、求人の現地採用者数の増加が見込まれる。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・現在、求人の動きが出ていないため、求人から採用までの期間を加味すると、2、3か月後の増加はあり得ない。
		人材派遣会社（支店長）	・ボーナス支給以降に人材の動きが活発になる可能性はあるが、欠員の補充である可能性が高く、増員の可能性は低い。
		職業安定所（職員）	・製造業での求人が増加しつつあるが、求職者に適合するとは思えない。
		職業安定所（職員）	・企業の求人ニーズは、離転職者の発生に伴う欠員補充等、当座の対応のための要素が色濃くうかがえ、事業拡大等のための求人が全く見受けられない。
		職業安定所（職員）	・3月の有効求人倍率は0.94倍と上昇しているが、パートや派遣業等不安定な求人が目立つ。このため、就職件数は依然として前年比でマイナスの状態が続いている。3月の完全失業率も5.4%と悪化しており、SARS等の影響も不安材料となっている。
		学校〔専修学校〕（就職担当）	・企業の採用担当者から、大幅な採用数の減少計画はないという話を聞いている。
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・中国、シンガポールなど、東南アジアへの進出のための採用を、SARSの関係でしばらく控えたいという企業が増加している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・アジア経済圏では、SARSの影響は、イラク問題より深刻である。
		求人情報誌製作会社（企画担当）	・各企業の中途採用の動きが極めて鈍くなっており、今後も続く気配である。回復の見込みがなく、危機感を覚えている。
		学校〔短期大学〕（総務担当）	・株価下落による影響が出ており、先行き不透明なために求人が出せない企業がある。
	悪くなる	-	-

#### 5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	商店街（代表者）	・新商品が出回る時期であり、販売量や販売価格が上昇する。
		百貨店（企画担当）	・消費動向は、世界情勢などに影響されておらず、新商品、季節先取商品への反応が非常に良い。
		百貨店（外商担当）	・海外旅行者が減少すると予想され、買物客が増加し、売上は増加する。
		スーパー（店長）	・消費者の行動は、徐々に活発化する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店(営業担当)	・新車の購入を検討する客が増加している。
		テーマパーク(総務担当)	・SARS問題で海外旅行者は減少するが、国内のテーマパークへの客は増える。
		その他サービス[語学学校](経営者)	・売上が、前年同期比2割以上増加している。
		住宅販売会社(従業員)	・客は、銀行融資を比較的受けられやすくなっている。
	変わらない	一般小売店[土産](経営者)	・医療費の自己負担増、社会保険料の引き上げ、発泡酒の増税が影響して、財布のひもは固くなる。
	変わらない	百貨店(売場主任)	・最低限の買物しかしない客が多い。また、天候に買物が左右される。
	変わらない	百貨店(企画担当)	・来客数は前年並みであるが、客単価が低下している。
	変わらない	百貨店(経理担当)	・販売量、来客数ともに伸びておらず、今後も厳しい状態が続く。
	変わらない	スーパー(経営者)	・個人経営の店の閉店が相次いでおり、コンビニエンスストアも増加して激しい競争が続いている。
	変わらない	スーパー(店長)	・販売単価の低下、販売数量の減少が続いている。消費者の意識は変わっていない。
	変わらない	スーパー(店員)	・客は競合店のチラシが入ればそちらに流れるため、来客数の変動が激しい。チラシ商品や企画物だけが売れ、他の商品はまったく売れない。
	変わらない	スーパー(店員)	・客は安物買い志向で、競合店もかなりの低価格を打ち出している。客はスーパーの間を走り回っている。
	変わらない	コンビニ(エリア担当)	・競合店の出店が続いている。
	変わらない	コンビニ(エリア担当)	・おにぎり、お茶といった必要商品の売行きは変わらないが、その他の商品、とくに高い商品はまったく売れない。客単価は今後も上昇しない。
	変わらない	衣料品専門店(販売企画担当)	・良くなる材料は、これと言っていないのに対して、今後はSARSの影響が始まる。
	変わらない	家電量販店(店長)	・高価格商品や購買意欲のある顧客の取り込みではなく、現状客の取り合いをしている状況では、好景気にはならない。
	変わらない	家電量販店(店員)	・ボーナス時期だが、販売量は変わらない。
	変わらない	家電量販店(従業員)	・高額な新商品で売行きの良いものもあるが、全体をカバーするまではいかない。単価の低下傾向は今後も続く。
	変わらない	自動車備品販売店(経営者)	・客は必要以上に買わず、財布のひもを緩めない。様子見が続いている。
	変わらない	乗用車販売店(従業員)	・イラク情勢やSARS問題が解決しなければ、良くはならない。
	変わらない	乗用車販売店(従業員)	・需要の面から考えて、これ以上は悪化せず、今が底である。明るい要素は、具体的に存在しない。
	変わらない	乗用車販売店(従業員)	・小型車の需要も減少しており、ボーナス商戦に向けて各社がキャンペーンを実施するが、状況はかなり厳しい。
	変わらない	乗用車販売店(従業員)	・新型車が発表される予定であるが、客の購買意欲は、わずかな金額差でも購入を見合わせるほど弱く、また小型車中心の販売状況なので、活気に欠けている。
	変わらない	乗用車販売店(総務担当)	・夏の賞与は前年の水準を大きく上回ることはなく、ボーナス商戦は厳しいものとなる。
	変わらない	その他小売[総合衣料](店員)	・イラク情勢やSARS問題によって商品供給が不安定になっており、受注商品を確実に入荷できるか、不安である。
	変わらない	スナック(経営者)	・客からはボーナスカットの声も多く聞かれ、客の財布のひもは固い。
	変わらない	都市型ホテル(スタッフ)	・宿泊や宴会の予約状況は良くないが、単価を下げた宿泊パックの予約が見込まれる。
	変わらない	旅行代理店(経営者)	・SARS問題で、海外旅行が減っても国内旅行が増えればよいが、影響が心配される。
	変わらない	旅行代理店(従業員)	・SARS問題がいつ終息するかによるが、夏の旅行も引き続き影響を受ける。
	変わらない	タクシー運転手	・他社との競争は、ますます厳しくなる。
	変わらない	タクシー運転手	・夜の繁華街で働く従業員のタクシー利用が、増加していない。
	変わらない	ゴルフ場(企画担当)	・予算以上に売上を増加させるのは、かなり困難な状況にある。
	変わらない	パチンコ店(経営者)	・客単価が上昇しておらず、厳しい状態が続く。
	変わらない	美容室(経営者)	・客の財布のひもは固く、来客数は増加しない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなる	設計事務所（職員）	・新築、改築等は、金額が大きく、返済も大変なため、件数が減少している。
		商店街（代表者）	・3月以降は、来客数が減少に転じている。
		商店街（代表者）	・競争が激化しており、小規模店は消えていくしかない。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・株価の低迷や増税、SARSに対する不安感で、客の買控えが続いている。
		百貨店（企画担当）	・SARSの影響が中国全土に広がると、中国製のファッション商材等の遅延や欠品が予想される。今の消費基調では、わずかな品不足でも売上に即影響が出るため、非常に懸念している。
		スーパー（店長）	・発泡酒の増税や社会保険料の負担増により、消費が回復することはない。
		スーパー（総務担当）	・各企業の定期昇給がペアゼロ、あるいは低水準になった影響で、消費に悪影響が出てきている。
		スーパー（仕入担当）	・競合店が出店するため、来客数、客単価、売上等が減少する。
		コンビニ（経営者）	・最悪の状況にあり、これ以上悪くなれば廃業しかない。
		コンビニ（エリア担当）	・業界内で出店と閉店が頻繁にあり、競合はますます激しくなる。
		コンビニ（店長）	・発泡酒の増税に続いて予定されている、たばこの増税による影響が懸念される。
		乗用車販売店（従業員）	・販売数量、来客数が悪化している。
		住関連専門店（店員）	・来客数、客単価の低下傾向が続いている。
		住関連専門店（営業担当）	・新築物件の減少に伴い、価格競争や受注競争が一層激化する。
		観光型ホテル（スタッフ）	・国際線内レストランの売上減少は、容易には回復しない。
		旅行代理店（経営者）	・SARS問題の影響により、海外旅行が敬遠されている。国内旅行への反応も少ない。
		旅行代理店（従業員）	・夏休みに向けての海外旅行は、SARS問題で伸び悩む。
		テーマパーク（職員）	・消費者は海外旅行を手控えており、国内の「安・近・短」傾向と思われたが、レジャーそのものを手控えている。
		パチンコ店（店長）	・世界情勢の影響を受けて海外消費が落ち込んではいないが、国内の消費も増加しない。
		その他レジャー施設〔劇場〕（職員）	・来客数が減少しているため、値下げをしている。
美容室（経営者）	・競合店が増加しており、競合店に定着する客も出てくる。		
その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・まとまった金額の案件が出てくる兆しがない。		
悪くなる	一般小売店〔結納品〕（経営者）	・イラク戦争、SARS問題など世界的な不安要素がある。	
	コンビニ（店長）	・来客数が減少し、先が見えない。	
	衣料品専門店（経営者）	・例年なら3、4月は新入学生の売上が増加するが、今年は伸び率が悪い。	
	高級レストラン（スタッフ）	・会社のリストラや事務所移転等で常連客が減っているうえに、新規客も低調である。	
	旅行代理店（経営者）	・SARS問題の影響が広がる。	
	旅行代理店（従業員）	・SARS問題で、海外旅行客は皆無の状態である。国内旅行が増えても、売上、利益は大きく減少する。	
	設計事務所（経営者）	・計画段階の案件は若干あるが、単価が極端に抑えられている。	
	住宅販売会社（業務担当）	・販売量の減少が著しい。	
企業動向関連	良くなる	電気機械器具製造業（営業担当）	・国や自治体による情報インフラ整備がますます進む。
	やや良くなる	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・受注量は上向き傾向である。
		輸送用機械器具製造業（統括）	・新型車の発売が間近となり、販売量は増加する。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・販売量は若干増加するが、価格は低下する。
金属製品製造業（従業員）		・企業の設備関連は、相変わらず厳しい状況にある。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般機械器具製造業（販売担当）	・引き合いや問い合わせ数は増加しているが、受注率は依然として低い。また、価格面での顧客の要求が厳しく、利益の確保は難しい。
		電気機械器具製造業（従業員）	・SARS問題が解決することで、以前の受注量に戻る可能性はある。
		建設業（経営者）	・下請会社にも限界が近づいている。
		輸送業（従業員）	・SARS問題の影響によって、中国製品が安定供給されない懸念がある。
		輸送業（エリア担当）	・取引先企業は業種で差が出ており、自動車関係は堅調であるが、家電関係は厳しい状態である。
		金融業（企画担当）	・現在の市場価格でも利益が出るようなリストラや、業界内の淘汰が進まないと、各社とも厳しい状況が続く。
		公認会計士	・イラク戦争が短期に終結したため、予想されたほどの落ち込みはない。
	やや悪くなる	食料品製造業（経営者）	・SARS問題で全体の消費が冷え込んでおり、川上にいる製造業も先の見通しが立たない。
		化学工業（人事担当）	・良くなる材料がまったく見当たらないのに対し、SARS問題等の悪い材料ばかりが目立っている。
		金属製品製造業（社員）	・中部国際空港のようなプロジェクトは動くが、受注価格が抑えられている上に、売上を回収するまでの資金の立替等も多い。
		電気機械器具製造業（経営者）	・販売単価が継続して低下しているにもかかわらず、得意先の半数以上からは、一層の価格協力を求められている。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・需要の奪い合いで業績が良くなる企業があっても、マクロ的には、国内、輸出ともに上向く材料がない。
		輸送用機械器具製造業（工務担当）	・生産計画は、やや減少する。
	悪くなる	鉄鋼業（経営者）	・企業の淘汰が進むと、信用不安から取引量が落ちる。
非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画）		・引き合いも減少している。	
雇用関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・求人件数は減少しているが、今夏以降は、地元有力企業による比較的大規模な中途採用予定がある。
		求人情報誌製作会社（企画担当）	・アルバイト、パートに対する求人は、例年以上におう盛になっている。
		職業安定所（職員）	・公共工事の発注が頭打ちになっているが、今後は東海環状自動車道等の効果が現れる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・リストラによって業績を回復させた企業が、採用を増やしている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・派遣ニーズは相変わらず高いが、一方で、各企業は正社員の採用を手控えている。
		人材派遣会社（社員）	・派遣依頼の動きは前月並みであるが、値下げ要請や契約更新の中止は目立ってきている。
		人材派遣会社（社員）	・失業者は静かに増加している。また、昇給も止み、労働時間も減少しているため、可処分所得は伸びない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・全体的に求人が伸びている。とくに飲食業、派遣業や、アウトソーシング業界等で、求人が伸びている。
		職業安定所（所長）	・企業の設備投資は若干増加しているが、人員の採用までには至らない。
職業安定所（管理部門担当）		・求人と求職のミスマッチが発生しており、求職者は依然として多い。今後も、就職率は低下する。	
やや悪くなる	民間職業紹介機関（経営者）	・好調な業界は自動車業界のみで、今以上の回復は難しい。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・イラク戦争やSARS問題の影響が求人広告市場にも現れており、全般的に手控えられている。	
		職業安定所（職員）	・SARS問題の影響によって、人員削減や中小企業では倒産も出始めている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる	-	-

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		百貨店（営業担当）	・客の購買意欲は3か月前に比べて良くなっている。3か月後は、夏物セールの最盛期になっているため、商品の打ち出しさえきちんとすれば、客を引きつけることができる。
		観光型旅館（スタッフ）	・4～6月の予約保有状況は、大幅に前年割れとなっているが、7月以降はプラスに転じている。
		通信会社（社員）	・今後各業者が積極的に営業展開するため、販売量は上向く。
	変わらない	競輪場（職員）	・5月下旬から競輪ファン待望の高配当が期待できる新方式が導入されるため、来場者数の増加が予想される。
		商店街（代表者）	・商店街では、新しい若者向きの店は繁盛しているが、同じ業種の他の店は、すべて伸びていない。
		一般小売店〔果物〕（経営者）	・価格は低いまま推移しており、客にまだ元気がない。
		一般小売店〔鮮魚〕（店長）	・発泡酒やたばこの増税により、客の買い控えが進み、売上が減少する恐れがある。
		百貨店（売場主任）	・特に新商品がなく、商材は昨年とほとんど変わっていない。また、ヒット商品も出ていない。
		スーパー（営業担当）	・一品単価は下げ止まっているが、買上点数の増加見込みがないため、現状のままで推移する。
		コンビニ（経営者）	・今が底だと思えば若干上昇する気もするが、売上の大幅な前年割れは確実である。
		コンビニ（経営者）	・来客数は増加するが、単価がなかなか伸びない。
		家電量販店（経営者）	・家電全体では前年同期の売上をクリアしている。しかし、客の買物に対する姿勢は慎重で、DVDやデジカメなどのヒット商品がなくなれば、すぐに売上に影響する。
		乗用車販売店（経営者）	・医療関係者を除いて、法人需要は低迷しているため、回復には時間がかかる。
		乗用車販売店（総務担当）	・1～3月は新型車が登場したため販売台数もやや伸びたが、これから夏にかけて新型車の発売予定はない。また、3月の販売増加の反動もあり、4～6月は季節的に伸び悩む。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・客は大分不況慣れしているように思われる。当分は底ばい状態がこのまま続く。
		その他専門店〔医薬品〕（営業担当）	・ドラッグストアの客層は主婦が中心であるが、家計の収入が増加しないため支出も増やせず、慎重な消費態度が続く。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊とレストランの通常営業は、前年並みを見込んでいる。また、レストラン・ウエディングを含む婚礼宴会も、月により増減はあるものの、前年並みで推移している。
		タクシー運転手	・客が夜の繁華街へ出かける回数は、依然として増えず、タクシー利用の客が目に見えて増加するとは思えない。
		設計事務所（職員）	・製造業などの関連先からの照会や引き合いの中に少しずつ好転の兆しがみえる。しかし、一方では絶対量が少ないため、受注競争は一層激化する。
住宅販売会社（従業員）	・最近の客の出足は土、日の中でも日曜日が良い。特に今年は天候による影響が大きく、天候が良ければ来場者数は増加するが、悪ければ全く振るわない。		
住宅販売会社（従業員）	・客の慎重な姿勢はほとんど変わらない。受注量や来客数にも変化がみられない。		
やや悪くなる	スーパー（店長）	・最近、SARSの影響のためか、中国産の食品の動きが非常に悪い。売場の客からも食品は大丈夫かという声が、少しずつ出始めている。	
	スーパー（店長）	・SARSの影響で海外旅行が減少し、また大手企業の減益見通しで株価が低迷するなどのニュースが流れているため、消費者の財布のひもはさらに固くなる。	
	高級レストラン（スタッフ）	・受注状況は洋食店が横ばいであるが、和食店でとくに厳しい。和食は、半年前にオープンした新店だけが伸びている。	
一般レストラン（店長）	・久しぶりに来店した客に話しかけると、最近は外食費を抑えているという答えが多く返ってくる。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		スナック（経営者）	・イラク情勢に続き、SARS騒ぎにより、海外出張をセーブしたり、仕事を引き延ばすなどの話を耳にするが、この影響がさらに拡大していく。	
		観光型旅館（経営者）	・SARSなどの影響で国内旅行の需要が増加するといわれているが、その傾向はみられず、予約数は伸び悩んでいる。	
		都市型ホテル（スタッフ）	・婚礼の予約件数が前年比大幅に減少し、また単価の安い物件が多くなっている。宴会部門の予約は順調であるが、総体の売上は、前年に比べて減少が予想される。	
		旅行代理店（従業員） 住宅販売会社（従業員）	・SARSとイラク情勢の影響が根強く、さらに尾を引く。 ・新築、増築、リフォームに加え、最近では土地探しの客も増加し、堅調である。この大きな要因は、住宅ローン控除が15年12月末までとなっているためと思われる。 ・先を読む客は、どうせ家を建てるなら、消費税の上がる前に踏み切ろうという考えを持っている。	
	悪くなる	百貨店（営業担当）	・これから夏シーズンに向けての重点アイテムがまだ見つからない。また、夏の婦人サンダルの売上が前年同月の40%にとどまっている。	
		百貨店（営業担当）	・当初、春のファッション関係は、エレガンス志向が高まると予想していたが、実際の客の購入は、カジュアル志向が中心となっているため、単価の低下は免れない。	
テーマパーク（職員）		・レストラン及び団体、グループの今後の予約状況をみても、前年同月比で2ケタの減少となっている。ツアーの発生状況も非常に鈍く、旅行会社でも、団体、グループは非常に悪いと話している。また、SARSにより減少している海外旅行が国内に振り替わるのは、2割程度と聞いており、国内旅行が盛り上がりとも思えない。		
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		電気機械器具製造業（経理担当）	・携帯電話関係は引き続き底固い展開が期待できる。さらに次世代携帯が広がることにより、景気は上向く。	
		通信業（営業担当）	・インターネットのブロードバンド回線、とくに光ファイバー回線が伸びている。また、各企業は情報化投資の重要性は認めつつも、膨大な費用の支払いに警戒感が強い。	
	変わらない	不動産業（経営者）	・不動産取引に関する契約の予約や問い合わせが、かなり入っている。	
		繊維工業（経営者）	・米国の景気状況やSARSの問題もあり、先行きに明るさがみえない。	
		繊維工業（経営者）	・新たにSARS問題が発生し、国内の消費の動きが一層悪化する。	
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・大型物件の情報がなかなか増加しない。	
		電気機械器具製造業（経営者）	・取引先の中には若干良くなっている企業もあるが、当社も含めて、総じて現状維持で推移している。	
		通信業（営業担当）	・携帯電話の新規ユーザーの獲得も難しく、現状は変わらない。	
	やや悪くなる	司法書士	・不動産登記や商業登記分野において、とくに新規の事業展開の相談が、全く来ない状態が続いている。	
		化学工業（営業担当）	・依然として消費マインドの向上は期待できず、加えて受注時に値下げ要求が強くなる。	
		悪くなる	金属製品製造業（経営者）	・例年どおり、3月は年度替わりでかなり注文が入ったが、4月は例年に比べてはるかに悪く、悲観的な受注状況である。
	雇用 関連	良くなる やや良くなる	精密機械器具製造業（経営者）	・3か月先の受注量が各メーカーともに落ちており、自宅待機やリストラを行っている企業が増え始めている。
			-	-
		変わらない	職業安定所（職員）	・今のところ、大量離職者が発生する情報はない。また、低迷していた製造業の求人が回復基調にあり、当面は新規求人の上向き傾向が続く。
人材派遣会社（社員）			・従来は求人数にカウントできないような半受注の問い合わせがかなりあったが、最近はこれも少なくなっている。しばらくは厳しい状況が続く。	
求人情報誌製作会社（編集者）			・新規の取引先や既存客からの求人依頼数に変化がみられない。	
新聞社〔求人広告〕（担当者）			・今月の取扱件数は良かったが、これからのイラク情勢やSARSの影響が不明である。	
職業安定所（職員）			・求人数はほとんど変わっていない。	
やや悪くなる		-	-	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる	-	-

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	一般小売店〔酒〕（経営者）	・地元ケーブルテレビで取上げられ、宣伝効果が出てきている。今後、役所の人事異動等で飲み会のニーズが出てくることも予想されることから、先行きに期待できる。
		コンビニ（経営者）	・昨年と同じか、それ以上に暑くなる見込みなので、冷麺等の売行きが伸びると予想される。
	やや良くなる	衣料品専門店（営業・販売）	・買い控えていた客が戻ってきていることから、先行きに期待できる。
		乗用車販売店（営業担当）	・買得車による客へのアピールで、代替購入が望めそうである。
		住関連専門店（経営者）	・まだ実需には結びついていないが、見積の依頼件数が最近徐々に増えつつあり、先行きに期待できる。
		その他飲食〔コーヒーショップ〕（店長）	・GW中の内需拡大につながる国内消費の底入れや、在阪人気球団の好調による盛り上がりにより、今後期待できる。
		観光型旅館（経営者）	・海外旅行を控え、国内旅行に出向く客が増えると予想している。
		観光型旅館（経営者）	・予約の問い合わせの数が昨年より増えている。
		都市型ホテル（経営者）	・現在の予約状況からみると、宿泊稼働、宴会利用は7月頃にはやや持ち直しそうである。宴会場のリニューアル効果による婚礼組数の増加や、企業の研修の受注による長期宿泊客の増加が寄与することになりそうである。
		旅行代理店（店長）	・先行受注は、国内外とも、よく入りだしている。
		旅行代理店（広報担当）	・申込状況は少し戻ってきている。6～9月の夏休みにかけての申込が、少しずつ良くなってきている。
		通信会社（経営者）	・新年度の予算で、新たな投資が見込まれている。
		通信会社（社員）	・新機種がボーナスシーズンに向けて用意されていることから、先行きに期待できる。
		競輪場（職員）	・土日開催という要因を考慮しても、グレード制の開催により、来客数の増加が期待できる。
		美容室（店員）	・内部の商品開発が進められていることから、先行きに期待できる。
		その他住宅〔展示場〕（従業員）	・住宅ローン減税の駆け込み需要と、相続時精算課税制度の特例による潜在需要の喚起効果の期待から、現状より良くなると予想している。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・超低金利と優遇税制によって住宅購入環境が整っているなか、不動産各社の供給調整が進んでいるため、しばらくは需給バランスがとれたマーケット推移が期待できる。
変わらない		一般小売店（経営者）	・SARSの影響が様々な業種へ徐々に出てくる。需要は冷え込む状況が続く。
		百貨店（売場主任）	・季節商品の売上が減少傾向にあり、景気が上向くとは考えにくい。海外旅行の減少など、旅行等の消費が商品の消費へ変ればと期待している。
		百貨店（売場主任）	・7月のクリアランスは上向く予想であるが、現状からは大きな変化はみられない。
		百貨店（売場主任）	・百貨店の主力商品である婦人服に回復の兆しがみられず、今後の売上回復は期待が持てない。
		百貨店（売場主任）	・イラク戦争による海外旅行の中止で、国内での高額品や輸入商品などへの消費のシフトを期待したが、ゴールデンウィーク前半では効果は全くみられないことから、厳しい現状が続く。
		百貨店（売場主任）	・販売の後倒しによる好転は期待できない。すでにクリアランス時期を見据えての品揃えの強化が必要になっている。
		百貨店（企画担当）	・美術や宝飾といった高額商品の動きも悪く、株価の低迷等もあって当分苦戦が続く。
		百貨店（売場担当）	・爆発的ヒット商品がないことから、上向くとは思えない。百貨店で買物をする事による付加価値を提示できなければ、現状のまま変わらない。
	スーパー（店長）	・需要が回復しても、出店の増加で供給も増え、厳しい競争が続く。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経理担当）	・ゴールデンウィークが大型連休にならず、SARSの影響もあって近場のレジャーが増えると予想されるが、これは短期的プラス要因となっても、本格的回復の材料にはならない。
		家電量販店（企画担当）	・何もしなければ、売上は下がるという一方で、何かイベントを開催すればそれなりに確保できるが、消費が上向きにはまだ時間がかかる。
		家電量販店（営業担当）	・現状と同じ状態が続いているが、客の商品購入数が伸びないので、客単価も伸びない。現状を打開する要素がなく、エアコン等の季節商品に期待するしかないが、現状は壊れてから買うという状況が続いており、見通しは厳しい。
		乗用車販売店（経営者）	・低料金の修理が多く、高額になると修理をしないため、売上は上がらない。今後も厳しい状況が続く。
		乗用車販売店（経営者）	・SARS、日米の景気悪化など悪条件が重なりすぎていることから、厳しい現状が続く。
		一般レストラン（スタッフ）	・SARSの国内感染の報告がなされたら、景気にさらに悪影響を与えることが懸念される。
		観光型ホテル（経営者）	・先の予約状況をもて、今までより良くなる兆候はみられず、より悪い結果になるのではないかと不安が感じられる状況である。
		観光型旅館（団体役員）	・イラク戦争、SARS問題など、国内外旅行業界に与える影響は大きく、先行き不透明の状況のもとで予測が立ちにくい。
		タクシー運転手	・規制緩和による運賃競争はますます泥沼化しており、規制緩和後2度目の割引運賃の導入に踏み出さざるを得ない状況にあり、営業収入が減少するのは避けられない。今後も厳しい状況が続く。
		タクシー運転手	・梅雨時は乗車率も伸びるが、最近の状況を見ると、現状と変わらないと予想される。
		観光名所（経理担当）	・海外旅行のキャンセル分に期待しているが、1日滞在型の施設ではないため、客が大きく増えることはない。
		その他レジャー施設 [イベントホール] (職員)	・ホール自体の予約状況の先行きは良いが、未決定のものもある。SARSについては、今後の外国タレントの催事に影響を与える懸念材料であると考えている。
		その他レジャー施設 (企画担当)	・国内レジャー施設には追い風といえる状況だが、本質的な好材料はないため、現状のまま推移すると思われる。
		その他レジャー施設 [球場] (企画担当)	・在阪球団の公式戦は例年通りスケジュールに入っているものの、その他のコンサートや企業イベントなどが比較的少なく、来場者の増加があまり期待できないことから、厳しい現状が続く。
		住宅販売会社（従業員）	・戦争も終わり、景気が上向くと思われたが、SARSによる消費動向への影響が必至である。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・お祝いの進物に割引セールの商品を買う客が多くなった。夏に向かって低価格商品を求める客が増えるので、厳しい。
		百貨店（売場主任）	・中国製品の多いアパレル業界では、今後SARSの悪影響が大きく出てくると予想される。
		百貨店（営業担当）	・海外旅行をやめて国内消費に向かうと思われたが、ブランド品も含め、消費に回らない。唯一、家具を中心としたリビング品の売行きは伸びると予想されるが、先行きの見通しは厳しい。
		スーパー（店長）	・イラク戦争後の処理問題や、SARS問題など不安要因が多すぎる。このような情勢で株価の回復も全く見込めず、悪化の方向に向かっていることから、先行きが懸念される。
		コンビニ（経営者）	・増税、株価低迷、SARS流行と明るいニュースもなく、外出する気さえ削ぐ閉塞感が漂っていることから、見通しは厳しい。
		コンビニ（経営者）	・コンビニ業界全体が売上の前年割れを続けており、様々な新サービスも直接的には売上増になかなかつながらないことから、先行きには期待できない。
		衣料品専門店（経営者）	・夏物衣料にお金をかけない傾向が2～3年前から続いている。4月でこの状況では、夏場は厳しい。
		家電量販店（店長）	・DVD、PDP、大型液晶などの新商品が貢献しているものの、買い替え商品はサイクルが長くなっており、先行きの見通しは厳しい。
		乗用車販売店（経営者）	・株価の下落、SARSなど、マイナス要因ばかりが目立つことから、先行きの見通しは厳しい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（経営者）	・テロやSARSなどの不安から世界市場が低迷しているが、間接的に業界にも影響が出てくる。今後2～3か月は良くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・昨年の4月と比べると3分の1の販売数であることから、先行きの見通しは厳しい。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・同業他社の出店が相次ぎ、競争も厳しくなっている。
		一般レストラン（経営者）	・物価、土地価格の下落、SARS問題等、先行き不安要素が多すぎる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・SARSの影響が懸念される。5月の連休でも海外への旅行を取りやめて、国内に振り替わるかと期待していたが、国内旅行の動きも悪いなど、全体的に先の宿泊の予約状況が非常に悪い。
		都市型ホテル（スタッフ）	・先の予約が滞っている。イラク戦争での先行き不透明感や業績悪化を理由に、受注済み宴会がキャンセルされたり、毎年利用のある客が経費削減で会合を中止するという動きもみられる。さらにSARS問題で観光客のキャンセルが続き、予約が全くない状態に陥っている。
		通信会社（経営者）	・将来の景気について具体的な事由は見当たらないが、戦争があり、SARSが流行するなど、悪くなることを予感させる事柄が多い。
		通信会社（社員）	・広範囲なエリア拡張に伴う多大な投資と、利用料の見直しによる収支の悪化が懸念される。
		ゴルフ場（経営者）	・これまでは、海外旅行が減少するとゴルフ場に好影響がみられたが、昨年からはそのような影響は出てこない。このことから、先行きの見通しは暗い。
		ゴルフ場（経営者）	・単価に下げ止まり感がなく、安い物を探せばいくらでもある状況なので、予約があっても二股をかけられ、キャンセルされる状態であることから、先行きの見通しは厳しい。
		美容室（経営者）	・大手スーパーが閉店して半年が過ぎ、やっと落ち着いてきているが、先行きの見通しは厳しい。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・学習意欲が低下してきた上に、通塾には経済的な負担がかかるので、今後もそれほど期待できない。
		その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	・7月頃は衣料はもとより、寝具や小物に至るまでの春物関連の品物の集荷は、ほぼ終わりとなっているため、とくにプラス材料がない限りは、厳しい状況が予想される。
悪くなる		その他専門店〔宝石〕（経営者）	・イラク戦争、株価の暴落、SARSの恐怖が消費者マインドを冷やしていることから、先行きの見通しは厳しい。
		都市型ホテル（副総支配人）	・宿泊、宴会予約状況は、イラク戦争、SARS問題も影響して芳しくないことから、先行きの見通しは厳しい。
		旅行代理店（営業担当）	・外的要因による影響が強く、客の出足を鈍らせている。夏にピークを迎える需要に関しては、先行予約が低迷し、6～8月に向けての予約状況は、前年同月比で60%台しか確保ができていない。
		旅行代理店（営業担当）	・SARSの影響が日本国内に拡大すると、旅行需要は完全に冷え込み、倒産するエージェン트가続出する可能性が大きい。危機的な状況も想定される。
企業動向関連	良くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・新規事業に取り組み出したが、パチンコ業界、病院その他の販売施設から前向きな問い合わせが多く、新規事業に対する注目が集まっていることから、先行きに期待できる。
	やや良くなる	広告代理店（従業員）	・大型ホームセンター、量販店の出店が盛んなため、出店に伴う広告宣伝費の増加が見込まれる。
	変わらない	化学工業（経営者）	・発注の小ロット多品種化がますます進んでおり、コスト削減に限界が見え始めているが、得意先の値引き依頼は依然として強く、良くなる要因が見当たらない。
		化学工業（経営者）	・イラク、SARSと景気不安要素が多く、消費者の購買意欲は上がらない。
		建設業（社員）	・新しい不動産投資システムが構築されつつあるが、景気全体の底上げ感が感じられず、不動産への投資は引き続き低調であると予想される。
		輸送業（営業担当）	・客からの価格引下げの要請も一段落し、受注量も低位ながら安定しつつあるが、この現状が上向いてくるといいう勢いは感じられない。
		輸送業（営業所長）	・輸入貨物は、SARSの影響で香港便の飛行機が減便しているが、状況がすぐに良くなる兆候はみられない。
	不動産業（経営者）	・現在、住宅における空室率は安定しており、大きく悪くなることはないが、良くなることも考えにくい。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		不動産業（経営者）	・投資物件の購入意欲はおう盛であるが、銀行融資の姿勢が慎重で、価格が抑えられがちであることから、厳しい現状が続く。
		広告代理店（営業担当）	・取引先の中小企業で今年度の予算がかなり減らされていることから、先行きが懸念される。
		その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	・小売においては、売価低下や競争激化が広まる傾向で、回復材料に乏しい。SARSの心理的悪影響も悪い方向に作用していくことが懸念される。
	やや悪くなる	食料品製造業（従業員）	・SARS関連では、原料に関する問い合わせがあるなど、この問題が深刻化すると大変なことになる。
		繊維工業（経営者）	・展示会での売上が主であるが、その肝心の催事が減っている。経費が負担になって、催事もできない状況である。
		化学工業（経営者）	・中国市場の動きにより、日系進出企業の状況が悪くなっている。今のところ、それが良くなるニュースが伝わってこない。
		金属製品製造業（経営者）	・SARSの影響で、アジア向け輸出を含む荷動きが一層悪くなるのではと懸念している。
		一般機械器具製造業（経営者）	・SARSの影響は、当社にとって、イラク戦争よりも直接的である。海外出張が自由にできなければ、確実に受注が延期される。5月中の商談は順調にはいかず、経済活動はここ数か月は停滞すると予想される。
		一般機械器具製造業（経営者）	・航空機の需要がすぐには回復しないことから、先行きの見通しは厳しい。
		建設業（経営者）	・地元の建設業界の先行きに明るい話題もなく、今以上に全体工事量の縮小が予想される。官庁関係は縮小傾向にあり、民間ではより厳しい価格競争になる。
		金融業（支店長）	・株価低迷の影響で先行きが懸念される。SARSの影響が今後注視される。
		経営コンサルタント	・SARSが日本の景気にどう影響するかという不安から、先行きの見通しは厳しい。
悪くなる	コピーサービス業（従業員）	・イラク戦争による復興支援金の負担、SARSによる旅行業界への打撃及びそれらに起因する株価の世界的な下落等、回復の目途が立たない状況である。	
	不動産業（営業担当）	・賃貸マンションへの入居者の年収が下がってきていることから、先行きが懸念される。	
雇用関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	民間職業紹介機関（支社長）	・昨年の春に比べ、企業の採用意欲は間違いなく上昇していることから、先行きに期待できる。
	変わらない	職業安定所（職員）	・企業の倒産件数及び負債額は、前年比、前年同月比とも減少し、大口倒産もなかったが、倒産の要因は不況型が8～9割を占め、厳しい状況が続いていることから、先行きの見通しは今後も厳しい。
		職業安定所（職員）	・有効求人倍率は増加傾向にあるが、大企業の雇用調整、希望退職者の募集が目立ってきている。今後も全体としては変わらない。
		職業安定所（職員）	・雇用関連の数値は改善されつつあるものの、就職件数は対前年比で減少となるなど、ミスマッチの傾向が依然残ると予想されることから、厳しい現状が続く。
		民間職業紹介機関（職員）	・建設工事の工程上で、工事量や求人数の先行指標となる鉄筋工の求人がそれほど目立たないことから、現状のまま推移する。
	やや悪くなる	学校〔大学〕（就職担当）	・大手企業の採用動向は、前年度に比べ、1週間ほど早く内定を出している企業と、時間をかけて選考している企業との二極化がみられる。新卒についても、質重視の採用が徹底されている。
		人材派遣会社（経営者）	・戦後の復興資金負担とSARSが世界経済に与えるマイナスの影響が浸透していくことから、先行きが懸念される。
	悪くなる	人材派遣会社（経営者）	・企業の資金繰りが悪くなっており、特にIT業界においては倒産や支払い期限を伸ばして欲しいという会社が増えている。この様子から、先行きの見通しは厳しいと考えている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・戦争の余波が続く、SARSの影響もしばらく続くと思われる。とても良くなりそうには思えない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・最近の広告料金は定価があつてないようなもので、受注するためには、最初から思い切った低価格を提示しなければならなくなってきた。先行きの見通しは非常に厳しい。

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		コンビニ（エリア担当） 家電量販店（副店長） 住関連専門店（営業担当） タクシー運転手 パチンコ店（企画担当） 美容室（経営者） 設計事務所（経営者）	・若干上向き傾向にあるため、よほどのことがない限り、上昇傾向は続く。 ・販売側の施策により、良い面で、多少客に動きが出てきている。 ・海外から新商品を大量に入荷したことで、客の注目を引いており、今後この商材を使って店舗展開を目指すことで、売上の増につながる可能性がある。 ・戦争及びSARS等により海外の状況が良くないため、国内の方に客が回ることが予想され、観光客の需要が期待できる。 ・戦争及びSARS等のため、海外旅行等のレジャーが控えられることにより、近場のレジャー業界へ客が流れる。 ・新規開店により増客の見込みがある。 ・来客の動きが出てきている。
	変わらない	一般小売店〔茶〕（経営者） 百貨店（営業担当） 百貨店（売場担当） スーパー（総務担当） スーパー（店員） コンビニ（エリア担当） 衣料品専門店（地域ブロック長） 衣料品専門店（店長） 家電量販店（店長） 家電量販店（予算担当） 乗用車販売店（総務担当） 高級レストラン（スタッフ） 旅行代理店（経営者） 通信会社（社員） 通信会社（営業担当） 通信会社（広報担当） テーマパーク（広報担当） テーマパーク（業務担当）	・戦争やSARSなどにより人の動きが止まっているが、その分、地元で多少動いているため、悪いなりに売上は落ち込んでおらず、この状況がしばらく続く。 ・SARSの影響があり、中国製品に疑いが持たれたり、中国からの納品に遅れが出てくる。 ・セールなどで客が見つからないことが予想され、景気は上昇しない。 ・売上増が期待できる5月連休も曜日配列が悪く、現状は変わらない。 ・売上は変わらないが、例年動いていた品物が、今年はゴールデンウィークに差しかかっている今でも、動いていないものもある。 ・品物が動かないので仕入れ量が減少しており、今後も状況は変わらない。 ・販促に対して顧客の反応が鈍く、改善の傾向がみえない。競合の有無に関係なく、来客数が増えない。 ・来客数は増えても単価が低いままなので、売上は減少傾向である。 ・客の購買意欲に変化がなく、購入単価が低い。今後も売上は変わらない。 ・状況は悪いままであるが、今後の見通しとして、デジタル関連製品の販売により、市場も動いてくる。 ・客の買上点数が減少してきている。 ・これまでの新型車の効果が薄れてくる。 ・個人の利用はある程度はあるが、法人関係の利用が少ないため、予約状況はあまり上向かない。 ・SARSの影響で先行きが不透明である。現状でも、受注量が例年より35%程度減っており、今後も、海外の受注見込みはほとんどない。 ・販売量の変化があまりないため、この状況は今後も続く。 ・客単価はさらに減少傾向にあり、付加サービスやキャンペーンでアピールしても見通しが悪く、状況は変わらない。 ・9月頃までに新機種を順次発売する予定だが、短期間には契約者数を大きく増加できないため、変わらない。 ・イラク情勢やSARSなど、世界情勢はいまだ不透明なことから、それが客の心理にどうかかわり、観光に作用するかが分からず、先が見えない状況である。 ・来客数の動きに好転の材料が見当たらないとともに、晴天時でも客足が鈍いときがあり、今後の売上についても懸念が残る。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		ゴルフ場（従業員）	・ 来客数の予約状況は例年並みでほとんど変わらないが、70歳以上の方に対するゴルフ利用税が課税対象から外れたため、今後客足が少し伸びる可能性がある。
		競艇場（職員）	・ 来客数、発売金額ともに横ばいで、変化がみられない。
		美容室（経営者）	・ 同業種の中で閉店するところが何軒かあること、最近売上が落ち込んで伸びないという悩みを持っているオーナーが多いことから、今後も変わらず、厳しい状況が続く。
		設計事務所（職員）	・ イラク戦争の早期終了により、原油アップ等の社会経済不安がなくなり、個人住宅の新築、改築の状況は現在とあまり変わることもない。
	やや悪くなる	コンビニ（エリア担当）	・ 競合出店の増加やスーパーマーケットの開店時間の長時間化が進むことで、来客数の減少につながり、ますます厳しくなる。
		家電量販店（店員）	・ テレビ、洗濯機、冷蔵庫等の家庭用商品は売れているが、単価が低下しているため、売上はやや悪くなる。
		乗用車販売店（経営者）	・ 商談で厳しい値引き攻勢にあたり、金額受結までに時間を費やしている現状から判断すると、今後一段と厳しい状況になる。 ・ 安い車、燃費の良い車へのシフトがますます強くなってきているとともに、大型車は依然として動きが鈍い状況であり、後はやや悪くなる。
		自動車備品販売店（店長）	・ 相変わらず高額商品が売れず、今後も売れる様子がない。
		住関連専門店（広告企画担当）	・ 単価が低下しているため、販売量を増やさねばならないが、現状では難しいので、見通しはやや悪くなる。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	・ 客が店舗を何軒も回って比較し、購入決定までの時間が長い状況からみて、後はやや悪くなる。
		一般レストラン（営業担当）	・ 来客数が減少傾向にあるとともに、生ビールの企画で売上回復を願っても、飲酒運転の罰則強化などで期待できない状況にある。
		都市型ホテル（経営者）	・ 婚礼関係で、競合施設の改装、新規開業による影響が少なくとも半年は続くことなどから、やや悪化する。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ 客の財布のひもが固く、去年歓送迎会を行っても、今年も行わないところが、急増している。
		旅行代理店（団体営業担当）	・ SARSの蔓延は止む気配がなく、先行きはやや悪くなる。
タクシー運転手	・ 規制緩和による新会社の参入があるため、需給バランスが崩れてきており、先行きはやや悪くなる。		
通信会社（経営者）	・ 新規加入実績が例年の平均値を大きく下回っており、客の反応もさらに厳しいままである。		
通信会社（企画担当）	・ 業界内での価格競争やキャンペーン競争が激化している。		
通信会社（通信事業担当）	・ 新規転入者の問い合わせなどが増える時期だが、客がサービス内容、料金などを吟味しており、契約に結びつかない状況にあるため、見通しが立てにくい。		
住宅販売会社（販売担当）	・ 展示場やイベントへの来客数が減少傾向にある。		
悪くなる	百貨店（統括）	・ 例年、新ブランドの投入だけでも大きな売上のあった紳士服、子供服を中心に売上が悪く、さらに悪化する。	
	百貨店（売場担当）	・ 外商売上も伸びないうえに、経費が絞られているため、広告や人の投入ができない状況にある。	
	乗用車販売店（販売担当）	・ 1、3月が年間最大の需要期であるため、前倒しで販促活動を行った反動が出ている。 ・ 買替え期間が3年から5年へ、5年から6年、7年に、ますます伸びる傾向にある。	
	乗用車販売店（営業担当）	・ 新規来場数が激減しており、客の購買意欲が低下している。	
一般レストラン（店長）	・ 予約の件数が非常に減少している。		
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	金融業（業界情報担当）	・ 地元の自動車メーカーにおいて、収益面は低い伸びになるとみられるが、新型車の生産開始により、操業は一段と高まると期待できることから、景況感は改善する。
	変わらない	農林水産業（従業者）	・ 資源保護のため、大型底引き船が4月で休漁に入るものの、不漁が続いていた巻網船は、シケが減少傾向にあるので、出漁できる機会が多くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		食料品製造業（総務担当）	・一般市場は相変わらず物が動かない。和風の日配品は、零細企業製造によるものが多く、原料単価を下げると品質低下が懸念されるため、商品価格は下げられない状況にあり、ますます物が売れないという悪循環を生んでいる。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・需要の波はあるが、大手、大口納入先の鉄鋼業は、生産好調が継続する。
		一般機械器具製造業（経営企画担当）	・北米市場に不安を抱えるものの、国内の受注量は若干ではあるが、増加傾向にある。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・主要顧客からの受注量の内示は、今後も好調を維持している。
		建設業（経営者）	・周南合併による建設業への効果が見えにくく、他にも明るさがない。
		輸送業（総務担当）	・販促活動でも、現行の料金より低ければ話を聞くが、そうでなければ話を聞かないといった客の反応が多く、状況は変わらない。
		輸送業（総務担当）	・取引先企業の中で爆発的ヒット商品が見当たらず、状況は変わらない。
		会計事務所（職員）	・業種間で勝ち組負け組が歴然としてきており、この傾向は変わりそうにない。
	やや悪くなる	食料品製造業（総務担当）	・従来の委託商品の製造だけでは売上が伸びないため、最近、自社製品を作り始めたものの、顧客のニーズをつかむことが難しく、状況はやや悪くなる。
		繊維工業（統括担当）	・SARS問題による中国生産の不透明さ、株価の低迷、依然続く政治の混迷、首相のはっきりしない態度から、先は若干不安である。
		鉄鋼業（総務担当）	・半導体関連材料や堅調だった自動車関連材料の動きが鈍くなり始めており、先行き不安感が大きい。
		非鉄金属製造業（経理担当）	・販売量に関しては横ばい、若しくは若干回復傾向にあるが、販売価格に関しては下がる一方であるため、やや悪くなる。
		金属製品製造業（総務担当）	・現在の受注予定量から判断すると、先行きの仕事量は減少する。
		電気機械器具製造業（広報担当）	・米国景気の低迷、イラク復興、SARS等、マイナス要因が多くあるため、景況感はやや悪化する。
		建設業（経営企画担当）	・引き合いの物件も減少しているため、先行きの景気が良くなるとは考えられない。
		金融業（営業担当）	・大手企業の5月以降の設備投資が全くなく、中小においては仕事の受注が全くない。 ・5月以降の資金繰りが全く立っていない状況で、入金先細り、支払いのみが残っている状況である。 ・仕事の取り合いがさらにひどく、原価割れ受注が多くなり、体力勝負の色合いがより濃くなる。
	悪くなる	-	-
	良くなる	-	-
雇用関連	やや良くなる	職業安定所（職員）	・製造業で新規求人の増加が見込める。
		学校[大学]（就職担当）	・本学主催の企業説明会に、例年より多くの企業が参加している。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・企業は生き残りをかけて良い人材を求めているため、人材派遣や人材紹介の需要は、依然堅調である。
		職業安定所（職員）	・建設業を中心に、人員整理の動きが止まらないことから、新規求職が引き続き高水準で推移する。
		職業安定所（職員）	・小規模ではあるが、人員削減をしている企業もあり、求職者数が大きく変化していない。
		学校[大学]（就職担当）	・求人の早期化が目立つばかりで、実質の求人数が増えていない。
	やや悪くなる	新聞社[求人広告]（担当者）	・4月の新聞広告による売上は、3月に続いて前年をクリアできたが、SARSなどによる心理面への不安感から、景気動向には陰りがみられ、やや悪化する。
		民間職業紹介機関（職員）	・雇用状況においては、年齢が上がるのに比例して採用率が悪くなる傾向と、職務遂行能力が平均的な人の就職先が、年代を問わず、少ない傾向がある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる	人材派遣会社（支店長）	・潜在的に雇用が過剰気味でリストラが進まず、不足感がある求人状況との関係では、求職者の雇用は難しく、状況は良くならない。

### 9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	乗用車販売店（従業員）	・同時多発テロ以降、減少していた売上が、最近、持ち直して来ている。
	変わらない	商店街（代表者）	・地方の商店街においては、イラク戦争、SARSの問題等の外的要因の影響は少なくなってきたように思う。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・売上は減少したまま横ばい状態である。購買力のある消費者が減少している。
		一般小売店〔菓子〕（販売担当）	・来客数は前年割れを続けており、一向に回復の兆しが見えない。
		百貨店（営業担当）	・統一地方選挙中の来客数の減少は回復してきているが、相変わらず、紳士服、リビング関連商品の売上が低調で、全体を押し下げる要因となっている。
		スーパー（店長）	・安価なものを買うという客の動向、買上点数には、変化がない。
		スーパー（店長）	・SARSの影響で国内需要が高まるかもしれないが、景気にプラス効果を与えるほどの影響はない。
		スーパー（企画担当）	・価格を見てから商品を買うという客の動向から、単価は底を打ったという感じはない。
		コンビニ（代表者）	・対前年比で販売量は5～6%減少、来客数は4～5%減少、単価は3%低下している。
		衣料品専門店（経営者）	・SARSで海外旅行が減少し、その分、国内消費に回るとは思っていない。しかし、アジアの製造活動の悪化から、横ばいか、やや減少すると感じている。
		家電量販店（店長）	・来客数は増加しているが、単価は低下傾向である。
		家電量販店（営業担当）	・デジタルカメラ、携帯電話はよく売れており、冷蔵庫、洗濯機も明るい兆しが出てきたが、他商品の販売量が増加してこない。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型車の効果が長続きせず、先行きの予想がつかない。
		旅行代理店（従業員）	・国内旅行は夏休みを控え、北海道旅行、沖縄旅行などが増加すると予想している。しかし、SARSの影響から、依然として海外旅行は、低調に推移すると思われる。
	タクシー運転手	・対前年比で乗客数は横ばいであり、客の動向からも、今後、乗客数が増加するとは考えにくい。	
	観光名所（経営者）	・昼食の予約が減少している。	
	設計事務所（所長）	・新年度になり、一時的に受注量は増加するが、好転の材料が見当たらない。	
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・イラク戦争やSARSなど悪条件が重なっており、こうした要因がある程度解消されるまでには、かなりの時間が必要であると思う。
		百貨店（総務担当）	・景気に敏感な主婦層の来客数が非常に減少し、ミセスを対象にした商品の売上が落ち込んでいる。
スーパー（店長）		・自社の他店舗の業態変更で来客数は増加しているが、単価は前年を2ポイント下回っている。	
スーパー（財務担当）		・売上、来客数、単価ともに昨年を上回っているものがない。この状況が昨年9月より続いており、現状を維持するのが精一杯である。	
家電量販店（店長）		・大型電化商品の動きが鈍化しており、先行きが不透明である。	
乗用車販売店（従業員）		・新型車の販売状況が良くないし、売れ始めるといふ要素も少ない。	
都市型ホテル（経営者）		・予約状況は悪い。また、客の様子からも、消費の手控えがうかがえる。	
通信会社（企画担当） 設計事務所（職員）		・SARS等により、かなりの悪影響が出ると予測する。 ・受注量が極めて少ない状況であり、上半期中続くと考えられる。	
悪くなる	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・発泡酒税の増税による駆け込み需要が、あまりない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔乾物〕(店員) 衣料品専門店(経営者) 美容室(経営者)	・SARS問題、核問題と悪材料が出て、株価が下がっている。 ・売上は昨年の50%ぐらいで推移している。 ・来客数が減少している上に、来店頻度が非常に低くなってきている。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	一般機械器具製造業(経理担当)	・東京都の排ガス規制により、8月頃まではかなり忙しくなってくる。
	変わらない	建設業(総務担当) 輸送業(支店長)	・公共工事が望めず、低調なまま推移する。 ・イラク戦争終結で、燃料及び石油関連製品の価格も開戦前の水準に戻りつつあり、夏場に向けて、飲料関係も前年並みの出庫が見込めそうである。
		輸送業(配車担当)	・燃料価格の値上がりで原価高となっている。イラク戦争の終結で、徐々に燃料価格は元に戻ると思うが、まだ少しの間は、景気は現状のまま推移するだろう。
	通信業(支店長)	・経費やコストを削減する会社が多く、個人消費を抑える雰囲気がある。	
やや悪くなる	電気機械器具製造業(経営者)	・SARSの影響で、中国産の材料が入って来ず、商品を生産できない状態が起きつつある。今後、SARSが経済に及ぼす影響は非常に大きい。	
	金融業(融資担当)	・取引先の売上、単価は下落している。賃金カットやリストラにより、従業員の消費マインドが低下している。	
	広告代理店(経営者)	・得意先の予算削減の影響で、従来よりさらに価格競争が厳しくなっている。	
悪くなる	食料品製造業(従業員)	・SARSの問題が中国での生産量にどのように影響するのか予測できないが、2、3か月後については、悪くなっていると思う。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社(編集者)	・求人の動きは一段落したが、即戦力になる人材が欲しいというニーズが非常に顕著に出ている。
	変わらない	職業安定所(職員) 学校〔大学〕(就職担当)	・製造業の求人回復が見込めない。 ・求職者の数は、年々変化なく推移しており、一方で求人数は減少気味と、ミスマッチがますます拡大傾向にある。
		職業安定所(職員)	・パートを含む有効求人倍率は0.53倍で、3か月連続で減少している。有効求職者は5か月連続で対前年同月比で減少しているが、新規求職者が前年同月比で6ポイント増加した。求人の減少に歯止めがかからないことで、リストラなど、事業主都合による離職者が増大しており、雇用環境はなお悪化すると思われる。
悪くなる	-	-	

10.九州(地域別調査機関:(財)九州経済調査協会)

(-:回答が存在しない、:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	百貨店(営業担当)	・売上が2ヶ月の伸びとなっており、今後もそのまま推移する。
	やや良くなる	スーパー(企画担当)	・改装店舗の客は旧店の商圈よりも広がっており、また評判も上々であり、良くなる。
		衣料品専門店(経営者)	・地場産品の寿甘藷の出荷が始まっているが、現在の価格からすると、昨年より良いと予想される。また、年金受給者、サラリーマンにおいても、高いものが売れ始めている。
		一般レストラン(経営者)	・これから夏にかけてイベント関係のケータリングが増えてくる。
		観光型ホテル(スタッフ)	・催事等の予約が前年を上回るペースで入っているが、宿泊予約は相変わらず先行き不透明である。
		テーマパーク(職員)	・アミューズメント施設は7~9月に季節営業を予定しており、夏休みのファミリー客が増える。
	設計事務所(所長)	・今まで不景気でずっと我慢してきた人たちの中でも必要に迫られてきた人が、「設計をお願いしたい」とか、「建物を建てたい」と言うようになっており、仕事が増えていく。	
変わらない	商店街(代表者)	・高額品を求める客の数が回復していて期待しているが、秋には郊外大型店の出店も控えているので、横ばいになる。	
	商店街(代表者)	・単価が非常に低いことと、SARSの流行で人の動きが悪い状態が長引く。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（組合職員）	・医療費を含め、増税による値上げなど明るい材料がなく、さらに消費が落ち込む。
		百貨店（売場主任）	・複合商業施設がオープンし、街ににぎわいが出てきたが、見学に来るだけで購買は少ない。
		百貨店（営業担当）	・欲しい商品は金額に関係なく購入するような客層の購買が慎重になっている。全店DM催事、店外ホテル催事においても同様である。
		百貨店（売場担当）	・客が慎重な買物をするようになってきている。入店客数と購買客数の比率の乖離が進んでいるのも懸念される。
		スーパー（経営者）	・給与やボーナス等のダウンといった先行きの不透明感があり、買い渋りがある。
		スーパー（店長）	・来客数は少し回復しているが、購買量と平均単価がかなり落ちている。客は処分期にあわせて買っているの、立ち上がりの商品が売れなくなっている。セールの期間中に買って、他の期間は控える傾向が出ている。
		コンビニ（エリア担当）	・常連客から給料のベースアップも定期昇給もないと聞く。逆に、増税等で支出が増えれば、売上が伸びる要素はない。
		コンビニ（店長）	・ゴールデンウィークは期待できない。SARSの影響で国内旅行が上向きになることを期待している。
		衣料品専門店（経営者）	・イラクの戦後処理、SARSの流行等、国内外とも情勢は混迷しているが、このまま落ち着く感がある。
		衣料品専門店（店員）	・セールの時期ともなれば、利益を削ってでも販売量を動かすことでしか生き残る道はない。
		家電量販店（店員）	・パソコン業界では5月末から6月初めにかけて新製品が発売されるが、大きな変化はなく、購買意欲をそそるとは思えない。買い替え需要は多少あっても、現在と変わらない。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・イラク戦争の終結と原油価格の下落があり、元売りからの卸価格が下がると見込まれる。客のカーケア商品の購入姿勢が慎重なことに加え、定期昇給廃止等の影響も懸念される。
		その他小売〔雑貨卸〕（総務担当）	・戦争の後遺症、SARS、政局の不安定等で、良い材料がない。
		一般レストラン（スタッフ）	・客の話では、保険料の負担が増える、年金の支給率が下がるといったことで、買い控えはなお続く。SARSの影響で海外旅行が控えめということで、ゴールデンウィークは期待している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・SARSや株価低迷など景気悪化要因が多く、個人消費は慎重にならざるを得ない。
		タクシー運転手	・大きいイベントもないし、旅行客もバスなどの移動がほとんどで、人の動きは変わらない。
		通信会社（業務担当）	・5月は、3～4月の反動と新機種待ちの買い控えが一時的に発生し、新規契約だけでなく、機種変更も大きく落ち込むことが予想される。その後は新商品の発売に助けられて、何とか現状を維持していく。
		パチンコ店（店員）	・SARSをはじめ、これからの日本経済に大きな不安を感じる。
		競輪場（職員）	・前年度と比較すれば10～15%落ち込んでいるものの、そこが底ではないかと認識している。客単価が若干落ち込んでいるのが懸念材料である。
		住宅販売会社（従業員）	・年度替わりで新しい物件が出てくるため、購買層の集客が見込めるが、客の反応は良くない。
		住宅販売会社（従業員）	・ローン特別減税の関係で動きが出てくると考えていたが、思った以上に動きが鈍い。
		住宅販売会社（従業員）	・イラク・北朝鮮情勢、株価の低迷、SARS等、経済へのマイナス要因しか見当たらず、景気を押し上げる有効な材料が見当たらない。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・商店街から自転車です10分くらいのところに大型ショッピングセンターができ、少しは客が帰ってきたものの、厳しい。
		商店街（代表者）	・SARSの影響で、物流への影響が非常に大きい。
		百貨店（売場担当）	・近所に新たな大型商業施設ができ、今後ますます競争が激化する。
		スーパー（店長）	・大手スーパーが近いうちのできる予定なので、今後非常に厳しくなる。
		スーパー（店長）	・発泡酒の増税や年金の負担増など、毎日の生活の中に負担がのしかかる。
		スーパー（総務担当）	・昨年並みで推移していた食品が、徐々に前年割れをするようになってきた。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経理担当）	・特売での購入比率が高まったり、競合店を回る客の割合が増え、客単価や販売量が減る。
		コンビニ（経営者）	・当店は2、3年前は建設関係の客が多かったが、今は来なくなった。
		コンビニ（販売促進担当）	・酒、たばこが増税される中で、前年をキープするのにどこも必死で、特売の回数も多くなり、厳しくなる。
		高級レストラン（スタッフ）	・イラク戦争、北朝鮮情勢、SARSなどの不安定要素があって、客の様子も落ち着かない。
		旅行代理店（業務担当）	・SARSの不安感が払拭されないと、海外旅行の需要の回復は大幅に遅れる。
		タクシー運転手	・夏のボーナスシーズンになるが、ボーナスは減るし、節約ムードで期待できない。
		タクシー会社（営業担当）	・SARSの影響やイラクの戦後処理がどうなるか、まだわからない。
		通信会社（企画担当）	・有望な新サービスが打ち出せないまま、従来サービスの値下げ競争が過熱して、単価が下がり、売上が落ち込む。
		ゴルフ場（従業員）	・給与のベースアップがないので、消費意欲が落ち込んでくる。実際ゴールデンウィークの予約状況も、前年に比べ落ちている。
		住宅販売会社（従業員）	・ゴールデンウィークに向けてキャンペーンをやっているが、客の反応があまり良くない。まだまだ厳しい状況が続く。
悪くなる		一般小売店〔生花〕（経営者）	・5月は母の日があるので良いが、その後の見通しが厳しい。
		百貨店（売場主任）	・保険料の実質負担増や春闘の賃下げ問題で、客の消費意欲が減退している。
		百貨店（営業担当）	・戦争、SARS、株安と先行きに不安が多く、明るい展望を描けない。
		乗用車販売店（経営者）	・リストラに加え、新卒者も就職がなく、新卒需要が起こっていない。買換え需要も手控えられている。
		都市型ホテル（総支配人）	・SARSの影響で旅行客が少なくなる。
		旅行代理店（従業員）	・SARSが中国や東南アジアに蔓延しているため、海外旅行の客離れが起きている。国内旅行も前年を維持できない状況である。
企業動向関連	良くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・九州新幹線に伴う事業を新しく始め、仕事量が増えてくるので楽しみにしている。製造部門でも他社の半分以下のコストを実現できるため、収益性と低価格を続行できる。
	やや良くなる	建設業（総務担当）	・現在の受注量はオーバー気味なほど確保されているが、8月以降は先が見えない。
		金融業（調査担当）	・SARSの影響は懸念されるが、国内産業での需要充足という観点からすれば、神風的なところもある。また地場企業の前期決算からみても、上向きである。
		経営コンサルタント	・イラク戦争も終わり、SARSもおそらく5月いっぱいまで終息に向かうのではないかと見えてくる。悪いことが起きなければ、明るい兆しも見えてくる。
変わらない		農林水産業（従業者）	・国産食肉、牛肉の需要がある程度あって、今と同様に数量が足りない状況が続く。
		鉄鋼業（総務担当）	・SARS問題や株価の低迷が懸念される。
		電気機械器具製造業（経営者）	・まだまだ不透明感があるが、全体的には変わらない。精密機械関連、液晶関連も現状で推移する。
		建設業（従業員）	・工事の絶対量不足から過当競争がしばらく続く。
		輸送業（総務担当）	・冬物衣料品の備蓄が始まったほか、園芸資材が良く動いた。例年通りで、荷動きとしては非常に安定しており、今後もしばらくは変わらない。
		通信業（経理担当）	・イラク戦争も早期解決で、景気が良くなると期待していたが、SARSが出てきて、依然不透明である。
		広告代理店（従業員）	・受注量からみて4月は、複合商業施設のオ・ブンに伴って件数・枚数が増加したが、その他の業種は低調な状態が続いている。また、チラシサイズが小型化する傾向が続いており、広告にかかる予算は減っていく。
やや悪くなる		農林水産業（従業者）	・7月以降、園芸作物（ハウス）は休止状態となるため。
		食料品製造業（専務）	・SARSで外国に行くのを控えるとかよく聞く。今はなかなか物を買わない、動かないという状況になっている。
		家具製造業（従業員）	・イラク戦争、SARSもあって、良くない。ホテル業者もSARSで神経質になっており、我々の業界もその影響が少なからずある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金属製品製造業（企画担当） 一般機械器具製造業（経営者） 輸送用機械器具製造業（営業担当） 不動産業（従業員）	・SARSの影響が当社の中国の合弁会社にも出てくるし、これが長引けば、日本経済にマイナスの影響が出てくる。 ・自動車業界は利益を出しているにもかかわらず、中国製品と比較しての値引き要請が強い。仕事をしても利益も出ないような価格では、景気回復などあり得ない。 ・海外生産への移行と季節変動の影響で、この2、3か月はとくに悪い。 ・オフィスビルの賃料下落傾向に歯止めがかからない状況が続いている。また、土地価格についても、需給バランスが改善する様子は見られず、下落傾向に歯止めがかからない。
	悪くなる	窯業・土石製品製造業（経営者） 経営コンサルタント	・例年、陶磁器業界は6～8月にかけて受注が落ち込むが、今年は需要期である3、4月が悪かったため、ますます悪くなるのではないかと心配している。 ・酒税法改正が行われたが、小売店がその対策を知らない、どうしようもない状況に陥っており、酒販業界はますます悪くなる。
雇用関連	良くなる やや良くなる 変わらない	- - 人材派遣会社（社員） 人材派遣会社（社員） 求人情報誌製作会社（総務担当） 職業安定所（職員） 民間職業紹介機関（職員）	- - ・仕事を探している人は派遣でも登録の数が増えているが、それに対して、案内できる仕事が変わらない。一度仕事についた人は、なかなか次の仕事に移らない。派遣のニーズもそれほど増えていない。 ・最近商談の目新しさが全く感じられず、また昇給についても春闘は非常に厳しく、雇用に関して明るい材料がない。 ・自動車関連企業で設備投資の動きがあることが明るい兆しであるが、どの程度雇用につながるか、現時点では見えない。良くなるどころ、悪くなるどころ、相殺して横ばいである。 ・大きな解雇や採用の情報がないので、今のままの状態が続く。 ・高齢者の登録が続くも、企業は若年層の採用を重視しており、転職が決定するのはごく一部で、厳しい時期が続く。
	やや悪くなる	職業安定所（職員） 民間職業紹介機関（支店長）	・新規求人倍率が低下傾向にある。また、製造業で30名規模のリストラが、4、5月で2件予定されている。 ・3月期決算状況が、ごく一部の業種・企業を除いて好転したとは思えないため、人材のアウトソーシングも、回復する材料は極めて少ない。したがって、少ないパイを奪い合う状況はますます熾烈になり、仮に需要増となっても、採算面ではかなり問題が残る。強いてプラス材料を挙げれば、製造業派遣の解禁（法案成立・施行後）は、人材ビジネスの市場拡大となるが、既存業者との棲み分けが課題となる。
	悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・当社の営業成績も、今年に入ってから前年割れをしている。経営努力の不足もあるだろうが、やはり景気に力がないと積極的な求人につながらない。とくにこの4月は昨年と比べると大幅にダウンしており、しばらくはこの傾向が続く。

#### 11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	良くなる やや良くなる	- コンビニ（経営者） 家電量販店（副店長） その他専門店〔楽器〕（経営者）	- ・観光名所では観光客が増加しているとのことであり、当店の近くにはホテルがあることから、多少の好転が期待される。 ・2月、3月と売上高は前年を下回っていたが、5月以降は季節商品の動きが活発となり、少なくとも現在よりは良くなる。 ・不景気感などは依然としてあり、これまでに下落した売上は、良かったころの売上にはほど遠いことから、今後も厳しい状況が続くと予測されるが、イラク戦争が終結となったことで、県内への観光客数に少しずつ回復の兆しがみられる。
	変わらない	一般小売店〔菓子〕（企画担当） スーパー（経営者）	・ゴールデンウィークをひかえ、レジャー関連業界は好転するのだろうが、例年ギフト菓子関連は、閑散期となるため、売上の増減は変わらない。 ・来客数、客単価ともにほぼ前月並みで推移しているが、客単価が相変わらず低水準であることや競合店の出店状況等から、2、3か月後も現状同様、厳しい状況が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（企画担当）	・年内に競合各社の新規オープン予定の店舗が数件あるなど、今後も当社と競合する店舗の増加がみられる。
		コンビニ（エリア担当）	・イラク戦争終結により観光客の動きは戻りつつあるが、デフレの傾向、単価下落の状況は続いており、景気の現状は変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	・ここ数か月間、目立った変化は感じられず、今後についても、変化の様子は感じられない。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・最近では商売のもうけ方や客をどのようにつかむか等の内容の本が売れており、個々人の考え方が若干変わりつつある動きがみられる。厳しい世界的情勢の現状において、景気が上向くことは厳しいだろうが、現状は維持する。
		高級レストラン（副支配人）	・現状と変わらず、良い材料は見当たらず、イベントを行っても客が確実に入るといった材料があまりないことから、今後も現状と変わらない状況が続く。
		観光型ホテル（副支配人）	・SARSの影響で、海外からの振替旅行者などが一時的に沖縄に来ている。ただし、この問題の長期化は、旅行観光業界には大きなダメージとなりうる。
		ゴルフ場（経営者） 住宅販売会社（従業員）	・現状のまま推移する。ただし、先行きは不透明である。 ・住宅展示場の来客数が増加傾向にあるものの、6月ごろがピークと予想され、今後2か月が繁忙期となることが予想されることから、2、3か月後の景気は現状と変わらない。 ・株価の下落による低金利の状況が、購買マインドの低下につながるのではないかと危惧される。
やや悪くなる		百貨店（担当者）	・特に新しい商品はないため、来客数は減少する。
		コンビニ（エリア担当）	・取引先との商談において、これまではあった、良い取引条件が最近はない。
		乗用車販売店（総務担当）	・特に新しい商品はないため、来客数は減少する。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・飲食業は酒税の改正により価格の見直しをしないといけないが、現状としては、販売価格に値上げ分を上乗せすることは難しい。この厳しい時期の発泡酒の税金引上げによる影響は、消費者、店舗ともに大きい。
		都市型ホテル（マーケティング担当）	・宿泊客については、6～7月中旬にかけて例年落ち込む傾向にあることに加え、宴会部門で株主総会等の受注はあるものの、婚礼の受注が少なくなっている。
		旅行代理店（経営者）	・SARSの影響により、しばらくはこの業界の好転は見込めない。
		住宅販売会社（経営者）	・新規マンションの販売予定もなく、来訪物件についても、来客があっても成約までには至らない等の現状があることから、今後も厳しい状況が続く。
悪くなる		商店街（代表者）	・大型郊外店の増加により、中心商店街は危機的状況に陥っている。 ・大型店が各種対策を行っても厳しい状況であり、大型店は辛うじて対応できても、小売店は個々の力に限度があるため対応は難しく、売上は日々下落するなど厳しい状況になっていることから、今後、小売店は淘汰されるのではないかと危機感を感じる。
		百貨店（総務担当）	・ここ数か月、来客数が前年に比べて大幅に減少しており、この状況が当分続く。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	建設業（経営者）	・現在の引き合い状況からすれば、2か月ほどは順調に推移する。
		通信業（従業員）	・キャッシュフローの心配がともなうが、この半年間程度の状況をクリアすることで大きな成長が期待できる。
	変わらない	通信業（営業担当）	・新規顧客の伸び率と既存ユーザーの減少とが拮抗する。
	やや悪くなる	輸送業（総務担当）	・イラク戦争等の影響により物量が減少する。
不動産業（支店長）		・景気が良くなる材料が見当たらない。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	変わらない	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規求職者の離職理由状況を見ると、対前年同月比で自己都合離職者が22.4%増となっている。</li> <li>・月間有効求職者数は15,974人で、対前年同月比1.1%と増加しているが、新規求職者の4.1倍と高くなっている。特に雇用保険受給者や求職者の滞留が続いており、長期化傾向にある。</li> <li>・中高年についても有効求職者数は新規求職者数の5.3倍となっていることから、離職による再就職が厳しい状況となっている。</li> </ul>
	やや悪くなる	人材派遣会社（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近、県による派遣入札があったが、従来では考えられない程の低い単価で入札が決定している。売上の伸び悩みには単価の下落が大きく影響している。</li> <li>・また、派遣依頼があってもいずれ正社員にするという予定派遣が非常に増加しており、そのため今後、派遣依頼の状況は厳しくなる。</li> </ul>
		人材派遣会社（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人数の動向に好転の兆しがみられない。個別の求人内容も条件がより厳しくなっているように見受けられ、企業の採用に対する慎重な姿勢がうかがえる。</li> </ul>
		求人情報政策会社（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業からは正社員の募集がなく、傾向として、契約、アルバイト、パートなどの低賃金による雇用を図ろうとする企業が多いことから、企業側と求職者側で雇用条件のズレが生じている。</li> <li>・入社してすぐ退職するという若者の真意としては、将来、継続していく職に対する不安感があり、自分に合う職場探しをしているとみられることから、この状況はしばらく続く。</li> </ul>
		学校〔専門学校〕（就職担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来月からの発泡酒、タバコ税の増税による消費の低迷や、ゴールデンウィーク目前でのSARS騒動による入域観光客への影響などの懸念材料から、雇用関連への影響が危惧される。</li> </ul>
	悪くなる	-	-